

中央に見える横長の建物が、展示をリニューアルした原爆資料館の本館。 花と平和の祭典「ひろしまフラワーフェスティバル(FF)」が開かれた 5月3~5日も大勢の見学者が詰めかけました



発行所 広島市中区土橋町7番1号 T730-8677

中国新聞社

電 話 (082) 236-2111 (受付案内台)

2-Ⅲ 記憶を受け継ぐ

IZIB 被爆樹木·建物

14 15 Q&A

16 17 平和記念公園

18 19 読書

20 漫画

21 ヒロシマの10代

2222 ワークシート

24 サダコと折り鶴



15歳ごろの米沢さん

無数のガラスを浴びた工場跡に立つ米沢さん

朝も白い鉢巻きを着けて「出勤 学生に課せられた任務。あの日の

しました。8時ごろから広場で始

整ったとたん、

背後の赤れんがの まった朝礼の後、旋盤まで戻って

壁ががらがらと崩れ落ち、 砕け散

った窓ガラスが右半身に突き刺さ

一このガラスは原爆を受けた記

動員先の朝礼後。20人の仲間息絶える

記憶を受け継ぐ

生きてきたガラス片は、傷口から いだガラスのかけらが今でも刺さ 奥深くに入り、筋肉が巻き付きま 右腕には、あの日の爆風で降り注 っています。13歳の夏からともに 軍人だった父清さんの赴任に伴 (旧姓山中) 峯子さん(86)の あの世まで持っていく」。米

沿いを北上し、大芝公園へ。座り

が書かれています。

ろうと、帯を手に捜し歩いた様子

^{ょねざわ みねこ} 米沢 峯子さん(86)

体内のガラス と لح もに

月1日から楠木町(現西区)の誉

航空軽合金(誉航空工場)へ動員

アルミの棒を細く削る作業が女

く、米沢さんたち2年生も45年8

た米沢さん。1943年に一家で

い旧満州(中国東北部)で暮らし

寄ってしがみつくと、女性は男の

子を振り払い、また駆けだしま

「男の子のお母ちゃんだった

た。「朝礼の真っ最中だったら…」。 された20人の仲間も息絶えまし が犠牲になり、誉航空工場に動員

ちょっとの差が生死を分けたので

し思うんよ。この世の地獄よ」

らか小さな男の子が泣きながら近 前でばったり倒れました。どこか

め、315人の生徒と教職員13人

疎開作業をしていた1年生を含

安田高女では、中心部で建物

性が奇声を上げて走り回り、目の 込んでいると突然、血だるまの女

帰国した翌春、安田高等女学校(現

安田女子中高)に入学しました。

しかし勉強した記憶はほとんどな



の出口のような明かりが見える方 がれきが覆いかぶさり、トンネル

爆心地から約1・8点。次々に

を裏返したようにどろっとはがれ

、無我夢中ではい出ました。手袋

戦闘帽の部分だけ髪が残った兵士

皮膚をぶらさげて歩く人や、

たちが歩いてきます。

状況を把握できないまま太田!!

=広島市西区

明かした後、友人の父親に連れら れて、打越町(現西区)の自宅へ 死を覚悟していたようです。 93年 国民学校までたどり着き、一夜を に亡くなった清さんの手記には、 戻りました。

その間、

両親は娘の ようやく古市(現安佐南区)の って片付けに駆り出されました。 4歳の西白島町(現中区)にあっ 々が続きました。 爆心地から1・ 隊兵舎跡地への移転が決まり、生 徒たちは毎日のように金づちを持 た旧校舎は全壊。近くの陸軍工兵 戦後も、少女たちには過酷な日

ら戻る軍人たちを受け入れまし

して「丸中旅館」を開業、戦地か

両親は爆風で傾いた自宅を改装

上がった」と言います。

ロシマの悲劇を世界中に伝えた名 た。52年には、新藤兼人監督がヒ

取

り壊して延焼を阻

作映画「原爆の子」のロケー行が

と新藤監督の雑談から生まれまし うにね」。このせりふは米沢さん のかけらをいつまでも残しておき 語りました。ここに入ったガラス たい、と。「8月6日を忘れんよ では友人との会話で右腕を触り、 たのが、乙羽信子さん。映画の中 子らを訪ね歩く主役の教師を演じ 原爆で生き残り、数年後に教え

思っています。 み合わず、助け合ってほしい」と 国の人が自由にしゃべって、憎し 英語やスペイン語が飛び交う毎 テマラ人の夫とお好み焼き店を営 廃業し、今は自宅で、長女がグア 日。「この店のように、いろんな んでいます。各国の人たちが訪れ、 に、両親から継いだ旅館は9年に 被爆者の夫の実さん(91)ととも

「塀の下から白骨化した兵隊さん 米沢さんが 被爆した場所 安田高女 広島市 西練兵場

が出てきたときは、みんなで震え 私たち10代の感想

願い 私たちが応えたい

見せてもらいました。腕の中で、ガラスが静 かな存在感を放っている気がしました。 のガラスは取らない」という言葉からは、の日のことを忘れないようにするため、

平和になってほしい」。米沢さんの願いに私

今ある幸せ 大切にする

当時の米沢さんは私たちと同じ学生でした

て工場で部品を造っていたそうです。原爆で たくさんの生徒が亡くなり、終戦後も新しい

小さな希望や幸せを見つけた生

今ある幸せを大切にすることを学び

校舎を建てるための作業に当たるなど、 を奪われた日常が続きました。 つらい生

う思いが伝わってきます。

を知り、

たちが応えなければならない、

勉強や遊びは許されず、

まだガラス片が残っている米沢さんの腕を

「憎しみ合わず、

(高1川岸言織)

毎日鉢巻きをし

(高1斉藤幸歩)

と強く感じま

建物疎開

業のことです。

広島市では1944年11月に国の 戦時中、全国の都市で行われ、

物を取り壊して空き地をつくる作 延焼を防ぐために、あらかじめ建 建物疎開は、空襲による火災の

理由で、その周りの家などを強制 軍需工場が燃えたら困る、という 指示を受けて開始。市役所や県庁 法律で決められていたのです。 全ての国民が戦争に協力するよう 的に立ち退かせました。戦時中は 兵隊や、地域と職場ごとに編成

引き倒しました。今の中学生以上 くくり付けた綱を引っ張って家を された国民義勇隊の大人が、柱に に当たる動員学徒の主な役目は、

4月25日にリニューアルして開館 品が多く寄贈されています。今年 見」となった弁当箱や服などの遺 防火帯の名残です。 した本館で、数多く展示されてい 側に面する平和大通りは、 原爆資料館には、学生服や「形

を描いた絵(浜田義雄さん作 建物疎開の作業をしている様 原爆資料館所蔵 (現中区) 付近で

2018年11月5日掲載

の作業中でした。原爆資料館の南 考えられており、多くが建物疎開

がれきの後片付けです。 割員学徒の犠牲者は
 6千人前後と 広島市の原爆資料館によると、

16歳の宮川さん

立第一高女(市女、現舟入高)の75年に74歳で死去)は、広島市

とトイレの塀の間にうつぶせに倒気が付くと、コンクリートの塀

が立ち、背中と左頰に熱を感じま

裏庭に出て空を見上げたとたん、

裸同然。体の至る所から血を流んな肌がどす黒く服はボロボロで という人が押し寄せてきます。み

広島

山陽線

比治山

宮川さんの自宅

し、幽霊のようでした。

麓の防空壕へ。壕の中は血だらけ

帰宅した父親と3人で比治山の

広島市 ○爆心地

。 市女の 作業現場

私たち 10代

こえてきます。「えらい低空だな」。

天にも届きそうな真っ黄色の火柱

ちが消えることはありません。

宮川さんの父、造六さん(19

まった」―。基町高(広島市中区

家族全員助かってしまった。後ろめたさ今も

家族5人が全員、助かってし

で長年、英語教諭を務め、平和活

動にも心血を注いだ宮川裕行さん

(88)。73年前のあの日から、「由

一訳ない」という後ろめたい気持

記憶を受け継く

町(現南区)の自宅には宮川さん 年生約540人が建物疎開作業に らです。広島高等師範学校付属中 13歳前後の少女たちと同僚は、熱 の直後に原子爆弾がさく裂。まだ の木挽町(現中区中島町)にいま を読んでいると、B2の爆音が間 奉仕に通っていましたが、あの口 線や爆風をもろに受け、 くの県庁学務課へ向かいます。そ は顔に湿疹ができ、自宅で休んで た。空襲に備え弟は八本松町(現 を見届けて、造六さんは広島駅近 当たっていたからです。 界広島市)へ学童疎開に。妹は父 と母トモヱさんしかいませんでし ハさんは、爆心地から約500~ した。教職員7人と市女の1、2 (現広島大付属高)。4年の宮川さ うだる暑さの中、上半身裸で木 爆心地から2・3 情離れた皆実 朝礼後、生徒が作業を始めたの は近所の陸軍被服支廠へ勤労 香川県へ疎開していたか 全員焼き

宮川 裕行 さん(88)

女生徒犠牲 父と伝える

が表の畑の柵にしがみついて震え

生徒の安否確認に追われます。

ちが京都市内で開いた「原爆展

米軍占領下の51年、京大の学生な

その後、京都大文学部に進学

ようだ」と宮川さん。

(現中区)の市女に泊まり込み、 翌日から造六さんは舟入川口町

の方へ出てみると、トモヱさん 「ひろちゃーん」。母親が呼ぶ のガラス戸や、しょうじが全部吹

ているのに誰も手を差し伸べませ

。みんな常軌を逸していたので

れています。「学校でも『娘を返

してくれ』と父は随分責められた

訪れ、うなだれて帰る様子が記さ んの日記には、自宅にも保護者が

女性が「痛い、助けて」とうめい 女が泣き叫び、全身焼けただれた した。顔を真っ赤にやけどした少 の人でぎゅうぎゅう詰めになりま

消息でもありませんか」。宮川さ

さ飛んで、まるで大地震の後のよ つな光景が広がっていました。

中がやけどでヒリヒリ痛みます。 れ込んでいました。顔や左手、背

目の前には壁がどさっと落ち、家



市女の慰霊碑の前で原爆の犠牲になった少女たちについて語る宮川さん

援にまい進したそうです。 たい」と、何度も現地を訪れ、 者は放置されている。何とか助け も乗り出しました。「韓国の被爆 り始めたほか、在韓被爆者支援に さんは修学旅行生に被爆証言を語

幸

造六さんは生前、市女の同窓会

の切なる願いです。 くない」。米寿を迎えた宮川さん のうても一日一日を無事に暮らせ るせない悲しみに胸が傷む」とつ 今もその生徒の姿が目に浮かびや の追悼記に「平和大橋を通る毎に になることは二度と起こってほし る平和は最高なこと。戦争の犠牲 づっています。 「特別なことじゃ (桑島美帆)

ーワード

年から約3年をかけて全50州で 地の市民団体と連携し、2007

全米原爆展」を開きました。

ろしさを知らせなければ、

、と原爆

展を始めたのでした。

これとは別に広島市は、米国冬

原爆展

にした原爆展は大きな反響を呼び した。非道な原爆の実態を明らか 取った「原爆体験記」も発行しま に参加し、被爆者から体験を聞き

60歳で定年退職したころ、宮田

ド、ロシアなど19カ国49都市で実

995年から「ヒロシマ・ナガサ キ原爆展」を共催し、米国やイン 広島市と長崎市は被爆50年の1

ら猛反発を受け中止されました。 ましたが、「原爆が日米間の戦争 を終わらせた」と退役軍人たちか 訪れる機会がない人にも原爆の恐 広島、長崎両市は、原爆資料館を を投下した爆撃機の機体の一部と 首都にある博物館が、広島に原爆 緒に被爆資料を展示しようとし きっかけは9年代の米国です。

世

ってもらっています。

遣し、体験を現地の市民の前で語

施しています。会場に被爆者を派

写真パネルや被害を物語る実物 界各地で惨禍伝える

世界各地で一時的に展示するもの 資料、犠牲者の遺品を日本国内と

現地の大学などが主催した原爆 (2017年

ポスターなどを提供しています。

す。市民や教育機関の活動も後押

ししようと、原爆資料館は展示田

自治体も、広島市と共催していま

先で開催しています。日本各地の

海外協力隊員らも、世界中の赴任

国際協力機構(JICA)の青年

南アフリカのヨハネスブルクで

2018年8月6日掲載

の感想

申し訳ない思い 衝撃的

宮川さんのお父さんは「自分たちだけ助か て」「うちの娘を返して」と責められたそです。「家族が無事だったことは幸運といより申し訳ない気持ちが強かった」とつらうに話す宮川さんの言葉は衝撃的でした。

「生きること」すら後ろめたいものへと変え きっと目に見えない傷を抱えた人は まだまだいるはずです。今後の活動で出会い、 学びたいと思います。 (高1佐藤茜)

韓国の被爆者 学びたい

仲間と一緒に長年、在韓被爆者支援に取り 組んだ宮川さん。韓国では、被爆者への関心 は低く、支援制度もなかったそうです。 体験を語り継ぎ、平和学習も盛んな広島との ップを感じました。私は外国人被爆者の 存在は知っていましたが、支援制度に大き 差があったことは今回初めて知りました。 支援制度に大きな 野を広げ、韓国の被爆者について、もっと学 びたいと思います。 (高1目黒美貴)

焼け焦げた袖。

血がにじむ襟

年8月6日に着ていた制服です。

寺川光人さん(87)が1945

の制

服携え「過ちから教訓を

も頑張ろう、と励まされた」。学

校制度の改革で1年間、観音高(西

に看病してくれた家族の愛が刻ま

そうに待っていた父と再会したの めいたそうです。五日市駅で心配

大やけどに苦しんだ記憶と、懸命

記憶を受け継ぐ

県立広島商業学校(現県立広島商 れるはずでした。 日の朝も、建物疎開作業に動員さ はなく、15歳の誕生日だったあの 業高) 2年生でした。 戦争で授業 次男として生まれた寺川さんは、 八幡村(現・佐伯区)の農家は

広島駅から当時は皆実町

頰や鼻の下にうじがはい回りまし いました。「どうなるのか…」。 は右半分が真っ黒になり膨張して

きながら大学卒の資格と教員免許

は19歳で小学校で体育を教え、働

快活でスポーツ好きの寺川さん

広島市

寺川さん宅

旧荒手駅

見めたのは3日後。鏡に映った顔

感識を失い、「ええ男を台無しに したのお」という祖母の涙声で目

大変だったのは、その後です。

と机を並べ、生徒会役員は選挙で

西広島 (旧己斐) 山陽線

爆心地

寺川さん 被爆場所

県立広島商業学校

区)にも通いました。「女子生徒

た。これが民主主義だ、と思った 選んだ。戦争中は考えられなかっ

た。「苦しみは痛みだけじゃない。

西広島駅)へ。「ホームにあった 車は走っていません。火の海とな 腕、後頭部を熱線が直撃しました。 の広電比治山下駅の辺りで強烈な と歩いていた時のことです。現在 区)にあった校舎に向けて同級生 登ると、眼下の街は火の手が上が 1・8㌔。 近くの避難用の壕に飛 光に襲われました。爆心地から約 水道の蛇口に群がり、傷口を冷や った市街地を避け、北の方角から ムの枕木からも火が出ており、列 っています。広島駅に行くとホー び込みましたが、顔の右半分や右 **大きく遠回りしながら己斐駅(現** した。今も駅の上り線ホームを通 とにかく逃げよう一。比治山に



超満員の車両に必死にしがみつき

允は路面電車が動いていました。

広電荒手駅(現草津南駅)から

てらかわ 寺川 光人さん(87) =広島市佐伯区

ました。「負傷した者も多かった

ば、制服を携え「歴史の過ちから

教職員計137人が被爆死してい



あの日の制服を手に「被爆体験を話す時、 触ってもらうようにしている」と語る寺川

大やけどの顔 風に激痛

漫たきりになりました。

頰に貼ったことも。奇跡的に、傷人骨を拾って粉にし、油で練って うみの臭い。猛烈なかゆみ」。放 が母フジヨさんでした。火葬場で 射線による下痢やだるさもあり、 あらゆる手を尽くしてくれたの 忙しくしました。安全を守る活動のまとめ役として を取りました。56年にカヅ子さん も地元学区の体育協会や子どもの (84)と結婚し、2女に恵まれまし 制服を捨てなかった理由を亡き 小学校の校長を退職してから

月被爆死しました。寺川さんは「そ

かった」。米兵は捕虜となり、翌 込んでいたから、怖くて近づけな

兵を発見しました。

一敵だと信じ

墜落。パラシュートで脱出した米

があったのでは」と想像します。 母が語ったことはありません。寺 川さんは『子どもまで無差別に殺 す戦争の愚かさに対し、強い思い

が少しずつ薄くなり、

体調も回復

地域で被爆体験を語る機会があれ 妨げる。核兵器はなくすべきだ するのが一番」と力を込めます。 和のため国同士、人同士が仲良く んな時代に戻ってはならない。平 一脅しのための兵器は真の友好を

20年5月8日掲載

米兵捕虜

し、日本の戦艦を攻撃しました。 が乗る米軍機が呉沖などに飛来 とされています。被爆者の森重昭 もいます。犠牲になったのは12人 この戦闘で、米軍機のタロア号や うか。1945年7月28日、彼ら **仏島を訪れた米国のオバマ大統領 霊を行っており、2016年には** さんは遺族を捜し出して交流や慰 (当時)と対面しました。 米兵はなぜ広島にいたのでしょ

世界大戦中にオラン ダ領東インド(現イ みられています。 1人が被爆死したと ンダ兵7人と英国兵 容されており、オラ 兵士約300人が収 本軍の捕虜になった ンドネシア)で旧日 長崎では、第2岁

広島で被爆 祈

とされ、乗組員たちが捕虜として ロンサムレディー号などが撃ち落 広島市中心部の軍の施設に収容さ

広島で被爆した米軍の兵士たち れたのでした。

の米兵の遺影が登録されていま 兵は即死したり、10日以上たって ム近くの相生橋で米兵捕虜の遺体 す。平和記念公園の国立広島原爆 を見たという証言も残っていま 死没者追悼平和祈念館には、複数 しくなったりしました。原爆ドー 8月6日に原爆が投下され、

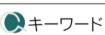
体験の伝え方 考えたい

私たち10代の感想

寺川さんは顔や腕に大やけどを負いました 現在目立った外傷があるようには見えま 家族の懸命さが奇跡を起こしたのだと 思いました。ある日突然戦争によって苦しい 体験を強いられた15歳の少年の気持ちを、 きる僕たちが想像することは簡単では どれだけ理解し、 自分の言葉に 周囲に伝えることができるか考え 置き換え、 ていきたいです。 (高2川岸言統)

核抑止力の問題 教わる

「国と国は仲良くしなければならないが、 核保有は友好発展を妨げる」という一言が心 に残りました。核兵器自体が相互不信を招く。 使われなければそれでいいのではなく、だか ら廃絶すべきだ、という意味でしょう。 も分かりやすく「核抑止力」の問題を説明し 後日、韓国と北朝鮮の首脳会 ースに接して、寺川さんの言葉の通 りだと思いました。 (高2鬼頭里歩)





て帰りました。

父の姿はなく防火水槽に燃えか

が人にも心を動ぜず、必死に歩い

2年でした。

は暮らしています。広島に原爆が に、栗原(旧姓高橋)明子さん(91)

市民助けようとした若者たち 忘れない

広島市安佐北区のケアハウス

投下された当時は19歳。 広島女学

院専門学校(現広島女学院大)の

記憶を受け継ぐ



のが同大で学ぶ南方特別留学生の の中へ。その場にいて紹介された ちゃんかな」と気付いた時、 もりが伝わり、手や頭の形に「赤 す。途中、道に転がる黒い塊を見 広島赤十字病院へ捜しに行きま すで「明子ゲンキ」と書き残し、 て足が止まりました。抱くとぬく **した。涙を流して抱き合い、大学扇大)から出てきた友人に会いま** こ 悲しみが湧いてきました。 広島で被爆した外国人の中に 父が見つからず肩を落とした 向かいの広島文理科大(現広

くりはら めいこ 栗原 明子さん(91) =広島市安佐北区

南方特別留学生と野宿

医だった父の謙さんの安否だけが

ていたので、県立広島病院の眼科 は久地村(現安佐北区)へ疎開し 翌7日。母兼子さんと妹尚子さん 見守るしかなかったといいます。 たりました。しかし亡くなるのを し、逃げてきた被爆者の救護に当

(現中区)の自宅跡へ戻れたのは火の手に阻まれ、広島市大手町

爆風で吹き飛ぶガラス片でけがを

(現マツダ)へ学徒動員中でした

中でともに過ごしました。

た「興南寮」や大学で被爆しまし

留学生6人は一緒に生活してい

シア、ブルネイから来た彼らもい

現在のマレーシアやインドネ

思いましたが、にぎやかな日々に

ました。被爆後の1週間を大学の

1945年8月6日は東洋工業

気掛かりでした。 無数の死体やけ

と慕いました。実の母が恋しかっ ね」と慰められ、打ち解けました。「メイコ、もう怖くないから も「元気出して」と励まされまし 学を拠点に父を捜しに回る毎日が 母と出会います。その日から、大 彼らを見たことはありましたが、 た。以前、寮のそばで夕涼みする たでしょう、 始まりました。見つからず戻って 自宅跡で、父と自分を捜しに来た イモをゆでて食べ、寝転がって休 話をするのは初めて。晩は校庭で 8日には留学生と食料を探した 彼らも自分の母を「お母さん 「かわいそう」とも を捜し、県立広島病院で建物の下 におびえました。その間も母は父 れ、髪も抜け「死ぬかも」と恐怖 を演奏してくれ、心が和みました。 な目に遭っても行動する彼ら。夜 敷きになった最期を知りました。 は寮から持って逃げたバイオリン 体調を崩しました。口の中はただ 終戦後、母と向かった久地村で

め、生活に余裕が出ましたが、21 治山にできた米国の原爆傷害調査 委員会(ABCC)に8年から勤 ルバイトをして卒業しました。比 冬に復学し、貧しい暮らしでア

勇気づきました。 乗せたものの流された話を聞きま に行ってくれました。異国で大変 した。配給の食料も代わりに取り にいた女学生を救おうといかだに す中、留学生から被爆後、川べり 終戦前日の14日まで一緒に暮ら 山陽線 広島 爆心地

る機関だからです。 者たちのことを忘れないで」 爆しても市民を助けようとした若 ないよう語り継いでいます。 彼らの存在が、歴史の陰に埋もれ に就く前、京都で亡くなりました。 うち1人は大学で別れて帰国の途 留学生です。被爆死したのは2人。 が、やはり心に残るのが南方特別 した国が、被爆者のことを調査す た」と振り返ります。原爆を落と こうした体験を語ってきました

東南アの若者

8人被爆

年間の勤務を「すごく葛藤があっ 栗原さんの自宅 興南寮 広島 文理科大 広島市

私たち10代の感想

2018年3月5日掲載

南方特別留学生



を育てる意図からでした。 の制度も、日本に協力的な指導者 するものでした。南方特別留学生 際には日本のアジア支配を正当化 栄を目指すとした構想ですが、 日本を中心としてアジアの共存共 た。欧米の植民地支配に代わり、 設というスローガンがありまし

実

戦後帰国した留学生は国会議員

当時の様子が描かれた絵を 手に南方特別留学生との日 々を語る栗原さん

のうち8人が被爆し、2人が亡く 科大 (現広島大) の留学生。 9人 南アジアの若者もいました。南方 特別留学生と呼ばれ、旧広島文理 なりました。 広島で被爆した人の中には、東

年を1943年と4年に日本各地 ジアから有力者の家庭の優秀な青 日本は第2次世界大戦中、東南ア の大学に留学させました。 レーシア、ブルネイの出身です。 9人は現在のインドネシア、マ 背景には「大東亜共栄圏」

広電

安らぎをくれた優しさ

南方特別留学生と過ごした栗原さ あまりにひどく変わった街の姿に心が止 っていましたが、彼らと出会い「楽しかっ と思える1週間になりました。私には想 像しにくい話ですが、悲しみがあふれる中で 「お兄さん」のような人たちが安らぎをくれ たのでしょうか。留学生は少しも愚痴を言わ なかったと聞き、すごく優しい人たちだなと (中1林田愛由) 思いました。

米国の施設で仕事 驚き

栗原さんが戦後、原爆傷害調査委員会で働 いた話に、私は最も驚きました。 栗原さんは 広島の数多くの人たちの命を奪った国の施設 で働き始めたものの、生活が楽になったので、 憎しみは我慢するしかありませんでした。私 が同じ立場だったら、と考えました。 人が殺されたことが許せなくて、その 身近な その場にい られないと思います。

(中3フィリックス・ウォルシュ)

寮跡」に立つ記念碑 南方特別留学生が住んだ 興南

> 爆した南方特別留学生を紹介して ーナー」を新たに設けて広島で被 館した本館に「外国人被爆者のコ 原爆資料館はリニューアルして開 の橋渡し役として活躍しました。 や首相などの要職に就いて日本と

は、黒焦げになった人でいっぱ

雁木という階段状の船着き場

とすがられました。「握力は弱

い。誰かに足首をつかまれ「水を

手の皮ごとはずれる感触。 忘れら

ふせました。崩れた家、遺体や馬 て掛け、水に浮いていた布団をか

父が流れてきた材木を川岸に立

く、足を引くとずるむけになった

周りは火の海でした。

記憶を受け継ぐ

歳。1945年8月6日、

んとの4人暮らしでした。当時5 んと母芳子さん、3歳の弟昭造さ

くさん浴びたことで、急性障害もうじに苦しみました。放射線をた

けどをし、大田さんも傷に湧いた

びた母は首から下の上半身に大や

大田さんを守るように熱線を浴

起きました。最初に母の頭の髪が

た時でした。閃光に襲われ気を失

に行くため母を追って玄関先に出

憶が幼心に深く刻み込まれている で被爆し、家族で猛火を逃げた記 ち」。大田金次さん(79)の強い思 い。そう叫び続けたいほどの気持 は決して繰り返されてはならな 現在の中区広瀬町で、父金一さ は、爆心地から900以の近さ 原爆という非人間的な過ち

に」と己斐駅(現西区)の裏手の

家族身を寄せ 布団かぶって耐えた

山中に持っていた小さな家に身を

たちは竹原の親類宅に助けを求め て11月ごろ、母は三原、大田さん



おおた かねじ 大田 金次さん(79) =広島市中区

猛火 死体あふれる川

母に代わり、父と2人で懸命に食 がれなくなった」。深手を負った マイモが底を突き、空腹で起き上

携わりました。新幹線の運行指導してアストラムラインの開業にも

就職し、民営化後のJRから出向

大田さんは苦学の末に旧国鉄に

出る前だった父と4人ではい出 崩れた家の下敷きでした。勤めに

「金次!」。母の声に気付くと

ていた。しかも保存していたサツ

た。 「気が付けば全員がそうなっ 全部抜け、 鏡の前で泣いていまし

った」と振り返ります。

し、近くの天満川へ逃げました。



「倒壊した家や黒焦げになった人でいっぱいだった」 |岸を背に、猛火を耐えたあの日を振り返る大田さん 天満川の

託します。 (金崎由美)絶と平和への願いを若い人たちに れば」と自分に言い聞かせていま 者の活動が年々難しくなる現実 た人も放射線の健康被害で苦しめ 体験を証言しています。高齢被爆 だい、友達に伝えて」。核兵器廃 続ける凶悪な兵器」と大田さん。 に、「比較的若い者も頑張らなけ 2015年から修学旅行生らに 「広島で知ったことを親やきょう 「核兵器は、原爆を生き延び 2019年1月14日掲載

もらったほど、食べ物が足りなか 草を摘んで給食のお団子に入れて やはり「鉄道草と呼ぶ道ばたの雑 に最も近い現在の本川小に入学。 げた廃材を父と一緒にかき集めて 翌年に自宅跡に戻り、原爆で焦 「黒い家」を建てました。爆心地 山手川 広島市 爆心地 大田さんの被爆場所一 福島川 現在の太田川 放水路

は思い出したくない記憶。家族や た。 風化に対する危機感は持ってい 「スジ屋」の仕事。 でも忙しかったし、あの光景 一被爆体験の

らしを立て直した家族はわずかで 年関わったことがきっかけです。 のこと。地元の社会福祉協議会の わが子と話すこともなかった と考え始めました。 会長として原爆死没者慰霊祭に毎 世代に語り継ぐべきではないか」 行動し、生き残りの一人として次 家のように奇跡的に元の場所で暮 即死したと推定されており、大田 した。「危機感を持つだけでなく 心境が変化したのは5、6年前 広瀬地区では、住民の多くが

急性障害

大量の放射線が、

を破壊することが原因です。原爆 見髄、胃や腸など消化器系の細胞 血液を造る

環礁で行った水爆実験でも、遠洋 し、半年後に乗組員のうち1人が 部太平洋マーシャル諸島・ビキニ マグロ漁船の第五福竜丸が被曝 1954年3月1日、米国が中

ありません。 原爆の影響は急性障害だけでは 10~数十年後にがん

や白内障になりやす

に遭った時は無傷に見えても、

急

原爆の影響で髪が抜けた少女 菊池俊吉さん撮影

方もあり、研究は今

やすくなるという見 込めば後障害が起き ちりなどを体に取り

ード

強 自分にできる行動とは

大田さんが証言活動を始めたのは、被爆体 験の風化に危機感を持つだけでなく、 たいと思ったからだそうです。私は取材で被 爆体験に触れて記事を書く機会が多くありま これで十分だと満足していないか、 分に問いました。原爆で起こったことを私か らもっと若い人に伝えるため、 できる行動を っと考えたいです。 (中2桂

私たち 10代 の感想

※地図は1945年当時

被爆者の思い引き継ぐ

「被爆後の光景は、思い出したくない記憶」 と大田さんは言います。破壊された広島の街。 くさんの死体。5歳の子どもにはつらすぎ る体験です。私は春から広島を離れて大学に 行きますが、周りは原爆について知らない人 ばかりかもしれません。大田さんのような被 爆者の思いを引き継ぐ努力は、これからが大 (高3池田穂乃花)

に体調を崩して亡くなる人が多く

浴びると、急性障害が起きます。 広島や長崎で原爆に遭った人たち 短い期間に強い放射線を一気に 毛、出血、意識障害などの症状 直後から嘔吐や下痢、

いました。 亡くなりました。

くなることが分かっ も、放射能を帯びた 比較的少量であって 障害と呼ばれます。 障害あるいは晩発性 てきています。

は母との約束をよく覚えていま

「死ぬときは親子一緒に死の 1945年当時、天満国民

死

の床で求めたモモ 今も仏壇に供える

川口 (旧姓面家) 弘子さん(81

ら離れて暮らすのはつらいもので と一緒に集団疎開しました。親か

した。家に戻りましたが広島はい

ケツを使って消し止めたそうで ばに迫っていた火の手を、防火バ 自宅へ引き返しました。自宅のそ 徒動員先に向かう途中で被爆し、 と会うことができました。兄は学

と自宅にとどまりました。 が帰ってくるまで離れられない」 外に避難した時も、母は「スミエ

爆心地

広電

へ戻りました。周りの負傷者が郊

つ空襲を受けてもおかしくなかっ

しくなり、広島から郊外の寺に姉

字校(現天満小)3年。戦争が激

は、母と姉だけを奪っていきまし

8月6日に米軍が投下した原爆

姉スミエさん(当時11歳)は学校

同じ天満国民学校の6年だった

の背中のやけどはなかなか治ら

母が来て看病してくれました。母

川口さんの被爆場所

天満川

広島市

母は寝たきりになり、やがて叔

へ出掛けたまま帰ってきません。

記憶を受け継く

内高) 2年だった兄敏之さん(86 8歳の川口さん

空き地で、松本工業学校(現瀬戸 ち出し、一緒に逃げました。配給 両手で目と耳をふさぎました。建 機雲を目撃。近所の軒下に入り、川へ遊びに行く途中、敵機の飛行 を負いました。治療を受けられる 歳)と再会。母が救急袋だけを持 物の下敷きになりましたが、隙間 自宅近くで被爆しました。友達と を忘れたことはありません。 にも行きました。 沿びました。体の後ろ全体をやけ から自力ではい出しました。やけ た。8歳の脳裏に焼き付いた体験 と知って己斐国民学校(現己斐小 日宅に戻る途中で背後から閃光を を受け取りに出掛けていた母は、 いの上天満町(現広島市西区)の こし、落ちてきた瓦で頭に大けが こやけがはありませんでした。 その後、避難場所になっていた 自宅の前で母静子さん(当時33 川口さんは爆心地から約1・2

^{かわぐち ひろこ} 川口 弘子さん(81) =広島市東区

育熱心だった母失う

せたかった母は休ませませんでし

いましたが、高等女学校に進学さ

うので、叔母が買ってきて食べさ

ん。ただ「モモが食べたい」と言

い」とも「かゆい」とも言いませ

っています。

うじ虫が湧きました。母は「痛

せてくれました。息を引き取った

め

家族は兄と2人。親戚宅の納

歳の時に中国で戦死していたた

父の利男さんは1938年、

父が育ててくれましたが、希望 屋に置いてもらった後、叔母と叔

ていた高校進学を断念します。

編

のは9月4日。姉に会いたい一心

姉は学校へ行くのを嫌がって



孫のためにも、元気で長生きした 争は絶対にいけない。子や孫、 ない子どもを巻き込んでしまう戦 ちして朝から晩まで働き、 た母のことも触れました。教育熱 ました。厳しいけれど、優しかっ 原爆死没者追悼平和祈念館に寄せ バレエの習い事もさせてくれまし 心だった母は幾つも仕事を掛け持 ては母と会話しています。 仏壇にはモモを供え、墓参りし 一罪の

とができました。その後も、新た

は、これまでに集めた14万編以上

島原爆死没者追悼平和祈念館で



2018年9月3日掲載

1957年に刊行された「流燈」。 国立広島原爆死没者追悼平和祈

開かれています。 月から1年間の予定で、原爆で多 の情報を公開しています。19年1 力は、これまで以上に大切になっ くの生徒を失った市立第一高等女 記録に残し、次の世代に伝える奴 を超えています。原爆の悲惨さを 字校(市女、現舟入高)の追悼誌 被爆者の平均年齢はすでに82歳 流燈」をテーマにした企画展

被爆体験記

めたもの、遺族や友人が原爆で亡 6年から刊行が始まり、2015 ものもあります。 くなった人を追悼するため記した 被災した人の救援活動に加わった 日」の体験を書いたものですが、 んの研究では、被爆翌年の194 へが目の前で見た惨状を書きとど 元広島女学院大教授の宇吹暁さ 被爆者が、原爆に遭った「あの

受けています。

自分の被爆体験記を、国立広島

年までに5895冊を確認するこ する人も少なくありません。 平和記念公園の中にある国立広

私たち 10代 の感想 家族への愛 どの時代も

川口さんは、母親のことを「偉大な存在」 と話していました。被爆直後は、母親の死を 悲しめないくらい非現実的な日常に混乱して いたけれど、今では母親の墓へ行き、 おしゃべりしたりするそうです。 んな時代でも家族への愛情はかけがえのない ものだと実感しました。私も、家族や周りの 感謝の気持ちを込めて恩返しをし 人たちに、 (中3風呂橋由里) たいと思いました。

勉強できる環境に感謝

勉強が好きだという川口さん。母は教育マ 「子どもに残せるのは教育だ」 言っていたそうです。母を原爆で亡くし、 校進学を諦めなければなりませんでした。 しその後、頑張って資格を取りました。「もと勉強することができていたら人生は変わていた」と言います。恵まれた環境に感謝 悔いのないよう勉強に励みたいです。

(高2池田杏奈)

甲状腺がんを患い、原爆症認定を う傍ら、20歳から経理学校へ通叔父が営む家具製造会社を手伝 恵まれました。しかし90年には 子どもと5人の孫、2人のひ孫に 返ります。22歳で結婚し、2人の 「楽しかった」と当時を振り 簿記検定2級を取得しまし

た。

す。

とともに、自らの被爆体験を書い ります。短歌や俳句で思いを表現 窓会や団体がまとめた本も多くあ た。その後、被爆者運動の高まり が主流で「紙碑」とも呼ばれまし 人に思いを伝えるため書いた手記 た本が増えたそうです。 学校の同 最初の頃は、遺族や友人が亡き 16歳ごろの加藤さん

段原小に寄贈した地蔵に手をやり、

体験を話す加藤さん

95年10月1日掲載、

(山本祐司)

死し、母は弟3人を連れ田総村 ある広島市内へ。父は2年前に病

(現庄原市) の実家へ疎開したの

叔父叔母と同居していまし

島工業専門学校1年生。授業のな

からは火が追っています。7、8人、目に入りました。真上

り京橋の下まで来た時、叔母と再

会できました。

のようでした。池に頭を突っ込ん り抜けた泉邸(現縮景園)も地獄

だ無数の遺体。水の引いた川に下

つぶれた校舎の下から児童の顔が 字校の先生でした。学校に着くと、

当時は広島大工学部の前身、広

いまま1945年7月まで呉海軍

空襲で焼け出され、命令で自宅の 上廠へ動員されていましたが、 呉

記憶を受け継ぐ

な命を残すしかありませんでし うとしましたが、猛火の中に小さ 敷きになった児童を必死に助けよ 段原小、広島市南区)で校舎の下 被爆した当日、段原国民学校(現 加藤義典さん(9)の心の中で、ず っとこだまする言葉です。17歳で 助けられなくて、ごめんねー

> った子どもを助けてくれ」。男性 ません。そんな時、「下敷きにな

> > 着いた時は放心状態でした。

日暮れ前、自宅へ向かおうと通

に手をつかまれました。 段原国民

思い残す学校に地蔵。あの日の証

天井が落ち、真っ暗になりましと光が突き刺さります。直後に ら約3・4計離れた大洲町(現南 強できる日に胸が躍りました。物 区)の中国配電大洲製作所で、同 初の授業のはずでした。 爆心地か 埋の授業が始まった時、ピカッー 互いに無事を確かめ合い、外に 原爆投下の8月6日は、入学後

[五五]

が膨れ、裸のような人たちが、道 出てはっと気付きました。青空に 事か聞いても分かりません。 南区)の自宅へ帰り始めると、顔 大きなきのこ雲。友人と京橋町(現 にぞろぞろはい出しています。何 自宅周辺は火勢が強く、近寄れ ^{かとう よしのり} 加藤 義典さん(90)

=広島市西区

迫る火 児童の命救えず



その場を離れました。友人と助け せん。最後、女の子に水を飲ませ、 ました。ただ火の手は容赦ありま 痛がります。「がんばれ」。粘り 「痛いよ」。校舎に挟まれた体を 子どもを引き出そうとしますが の玖村駅辺りまで歩いてから汽車 掛かりは見つけられないまま。諦便局の焼け跡で捜しましたが、手 家へ向かうことに。8日、 めきれない叔母を説得し、母の実 翌7日、叔父を勤務先の広島郵 、芸備線 け「自分も死ぬんかな」。覚悟はあ りました。年が明け、髪が生え始

です。

めると、生きる元気がわきました。 い、筆をとり、記憶を絵に残しま どものことも伝えなければと思 後、白血病のため亡くなりました。 会いました。「お兄ちゃん」と墓赤十字病院で佐々木禎子さんと出 の時、結核を患って入院した広島 ってくれた少女は自分が退院した 段原国民学校で命を落とした子 卒業後は中国電力に入社。27歳

り、あの日の証しにしました。 もがさらに伝えてくれれば、あの 年を最後にしましたが「今の子ど たちが亡くなった場所に地蔵を贈 から半世紀。救えなかった子ども くようになりました。自らの体験 なると人知れず段原小へ祈りに行 かなく消えていく時代が二度と来 子たちも喜んでくれる」。命がは へ証言するようになったのが被爆 を明かす手紙を同小に送り、児童 ないよう、手を合わせます。 証言活動も老いには勝てず、今 被爆30年ごろから、8月6日に

広島市 爆心地 山陽線 加藤さんの自宅 中国配電大洲 製作所(被爆場所

9月の終わり、ごそっと髪が抜

私たち10代の感想

戦争 何度も心苦しめる

加藤さんが自分だったらと考えると、何度

も苦しむでしょう。1度目は学徒動員で勉強 できなかった時。「ラッキー」かもしれませ んが、勉強しようと思って進学したのだから、

つらいと思います。2度目は子どもを助けら

れなかった時。特に女の子を諦めて逃げなく

てはいけなかったのは、後々まで悩みます。

戦時中(1944年)の 10代前半までの主な学校制度

12 13 14 15 16 10 11 実業学校 学 国民学校 高等女学校 初等科 師範学校 予科 青年学校

※実業学校、 中学校、 高等女学校は中等学校

終戦から2年後の

て、今と同じ小学校 学校教育法ができ 47年に教育基本法、

(6年間)、中学校 (3年間) になりま

る人は限られまし

ましたが、進学でき 業学校) などに進み 校、高等女学校、実

国民学校

学校令」で制度が変更されまし 学校初等科(同)に、高等小学校 た。尋常小学校(6年間)は国民 ていました。 1941年の 「国民 (2、3年間) は国民学校高等科 (2年間) になりました。 今の小学校に当たる学校は戦時 「国民学校初等科」と呼ばれ

国民学校令は、軍国主義教育の

で6年間学んだ後、国民学校高等

科や中等学校(中学

と言われました。 備えた防空演習や、心身の鍛錬と ささげることを求められ、空襲に 団体訓練が勉強よりも優先されま した。すべては戦争に勝つためだ 子どもたちは、国民学校初等科

勉強より「戦争に勝つため 皇に仕える「少国民」として身を 色合いが濃いものでした。国と天

人の心を何度も何度も苦しめる。それが戦争 (高1伊藤淳仁) 核の危険 人ごとでない

加藤さんは、若者に核兵器や原爆の問題に 対してもっと関心を持ってほしいと強調しま した。それは10代で被爆し、「あの日」のす さまじい記憶が鮮明に残っている加藤さんだ からこそ、最近の核兵器を取り巻く状況を危 険だと感じられるのだと思います。 僕も人ご とではないと気付きました。 自分の子や孫の ためにできることを、考えないといけません。 (高3岩田央)

ーワード

Survivors' Stories

(9)

I Was Not Able to Save the Lives of Children

Yoshinori Kato, 90, Hiroshima

"I'm sorry I was not able to save you." I often remember these words. I was 17 when Hiroshima was attacked with the atomic bomb. I tried hard to help children get out of the destroyed building of Danbara National School, but I had to leave the children under the building and run away because the fire was coming toward us.

I was a first-year student at the Hiroshima Technical Institute (now Hiroshima University). Classes at school stopped because of the war. Students in my school were sent to work at the Kure Naval Arsenal until July 1945. Because of air raids on the city of Kure, I had to return to my home in Hiroshima. My father was sick and died in 1943 and my mother and three brothers moved to her parents' house in the village of Tabusa in the northern part of Hiroshima Prefecture. I lived in Hiroshima with my aunt and uncle.

August 6 was the first day for us to study in classes in our school. We were not able to use our school building then, so we went to the Ozu Factory of Chugoku Haiden. It was about 3.4 kilometers away from the hypocenter. When I sat at my desk in the classroom with my friends, I was excited about studying in classes. When the physics class began, a flash of light came into the room. After the flash, the ceiling fell down on us and it became dark.

We said to each other, "Are you all right?" We found out everyone was all right, so we went out of the building. Then we were surprised to see a very big mushroom cloud in the blue sky. I began to walk with my friends toward my house in the Kyobashi-cho. We saw many people on the way. Their faces were swollen and their clothes were burnt. I asked them, "What happened?" but no one knew the answer.

I was not able to go close to my house because of the big fire around it. Then a man held me by the hand. He was a teacher from Danbara National School. He asked me and my friends to help children under the destroyed school building. When we arrived at the school, we saw seven or eight children's faces under the destroyed building. There was fire above them and it was coming closer.

We tried to pull the children out, but they cried, "It hurts!" Their bodies were caught in the destroyed building. I said to them, "Hold on!" We tried hard to help them get out, but the fire came too close to us. In the end, I gave some water to a girl and had to leave the children in the fire. We were able to save only one child. When I arrived at the East Drill Ground, I was too shocked to think about anything.

Before the sun went down, I started walking toward my house and went through Sentei Garden. (Now it is called Shukkeien Garden.) It was like hell. I saw so many dead bodies. Their heads were in the pond. I walked along the river. When I came to Kyobashi Bridge, I saw my aunt.

The next day, I went to the Hiroshima Post Office with my aunt because my uncle worked there. We were not able to find him or get any idea of where he was in the destroyed building. My aunt still wanted to look for him, but I asked her to go to my grandparents' house with me. On August 8, we walked to Kumura Station on the Geibi Line, and took a train..

At the end of September, all of my hair fell out and I thought that I may also die soon. I was not so sad about it, but when my hair began to grow again in January of the next year, I felt the energy to live again.

After graduating from school, I got a job at the Chugoku Electric Power Company. When I was 27 years old, I became sick and had to stay in the Hiroshima Red Cross Hospital. There, I met Sadako Sasaki. We became friends and she called me "Big Brother." After I left the hospital, Sadako died of leukemia.

I thought I **should** tell people about the students **killed** in the fire at Danbara National School, so I drew pictures of them. Around 30 years after the **atomic bombing**, I began to visit the **elementary school** to **pray for** them on August 6. I did not tell anyone about it. 50 years after the bombing, I sent a letter about my **experience** to the school and then started talking about the students there. To remember the children, I **donated a statue of "Jizo," a god** who takes care of children to be put at the school because I was not able to save the children's lives there.

I stopped telling the students in the elementary school about the children because I became old. This year, I visited the school for the last time. I think that if the students tell my story to more people, the children who died may feel happy. I put my hands together and pray that no more lives will be lost that way.

survivors' 生存者の
was not able to できなかった
save the lives 命を助ける
was attacked 攻撃された
atomic bomb 原爆
get out of ~から外へ出る
destroyed 破壊された
Danbara National School 段原国民学校
had to ~しなければならなかった

the Hiroshima Technical Institute 広島工業専門学校 Hiroshima University 広島大学 the Kure Naval Arsenal 呉海軍工廠 (こうしょう) air raids 空襲 Hiroshima Prefecture 広島県

the Ozu Factory of Chugoku Haiden 中国配電 大洲製作所 hypocenter 爆心地 physics 物理 flash 閃光(せんこう) ceiling 天井

found out (調べて) わかった
mushroom cloud きのこ雲
were swollen 腫れあがっていた、膨れていた
were burnt 焼かれていた
what happened? 何が起こったのですか

held me by the hand 手をつかんだ was coming closer 近づいてきていた

pull the children out 子どもたちを引き出す were caught in ~の中に挟まれていた hold on 持ちこたえる・がんばる the East Drill Ground 東練兵場 was too shocked to think about anything ショックで何も考えられなかった

hell 地獄 dead bodies 死体 pond 池

the Geibi Line 芸備線

fell out 抜けた sad 悲しい energy 気力・元気

after graduating from school 学校を卒業してから the Chugoku Electric Power Company 中国電力 the Hiroshima Red Cross Hospital 広島赤十字病院 leukemia 白血病

should ~べき killed 殺された atomic bombing 原爆投下 elementary school 小学校 pray for ~のために祈る experience 経験 donated 寄贈した a statue of "Jizo" 地蔵の彫像 a god 神

for the last time 最後に put my hands together 手を合わせて pray that no more lives will be lost that way もう二度と命があのように失われないように祈る 15歳の河内さん

があったら一家全滅してしまう 祖母宅へ行っていました。「空襲

・15離れた牛田町(現東区)の

と、両親に強く勧められたからで

記憶を受け継ぐ

がいっぱいで途中までしか進めま 家へ向かおうとしましたが、死体

んでしまいました。3人の骨を拾

って防空頭巾に入れ、胸に抱きし

広島

めて自らの死に場所を探して歩き

河内さんの被爆場所

山陽線

爆心地

広電 広島市

河内さんの自宅

せんでした。

った今も、被爆体験を語っていま ず、次世代につなぎたい」。河内 くなった人たちの死を無駄にせ (旧姓友竹) 政子さんは89歳にな 当時、広島市立第一高女(現舟 「平和を信じ、無念の思いで亡

家は焼け、父も母も姉も白骨になっていた

ることにしました。 いました。庭にあった防空壕へ飛 瞬間でした。「ピカッ」と強烈な び込むと、血だらけの祖母がいま 体のあちこちにガラスが刺さって が覆いかぶさり、下敷きになりま 光を感じたのと同時に、崩れた家 **隙間からの明かりを頼りに脱出。** て庭へ出て散歩し、玄関へ入った した。2人で近くの山の方へ逃げ た。意識が戻った後、わずかな 「どうか生きていてほしい」。 久しぶりの休みがうれしく

かしました。7日、8日と、わが 広島の街が焼けるのを見ながら、 家族の無事を必死で祈り、夜を明 ^{こうち} まさこ **河内 政子さん**(89)

=広島市東区

強烈な光 体中にガラ

だったと思っています。



かった被爆体験を話すようになっ 目にしてから、思い出すのもつら が戦争ごっこを楽しんでいるのを

8時15分に合わせて、平和記念公

原爆が落とされた8月6日午前

原爆死没者名簿納める

平和の実現を祈ることが目的で

名簿」に書き記して原爆慰霊碑に

納めたりします

があった人の名前を「原爆死没者 が確認された人、遺族から申し出 れまでの1年間に亡くなるか死亡

「平和宣言」を読み上げたり、そ

亡くなった人たちを追悼し、世界 園で毎年開かれています。原爆で

でした。家は焼け、父は玄関の跡 ていました。その様子から、即死 になり、足の骨の上に包丁が乗っ で、姉信子さん(当時18歳)は台 所で座ったまま白骨になっていま 上半身は黒く焦げ、下半身は白骨 ようやくたどり着いたのは9日 下痢に苦しみ、意識がもうろうと まで大八車で連れて帰ってくれま の実家がある亀山村(現安佐北区) 雁木に死体が折り重なっていて、 回りました。川に入ろうにも、 黒い斑点ができました。高熱と した。それから髪は抜け、体中に 下りることができませんでした。 し、祖母の元へ戻りました。 その後、母方の親戚が来て、母 祖母が心配している」と思い直

は炊事場に横たわっていました。

た。。母マサノさん(当時46歳

の卸問屋を営んでいました。8日

さん(当時48歳)が繊維製品など(現広島市中区)にあり、父軍一

6日は学徒動員先の工場が休み

前日夜から、爆心地から約2

爆心地から約400㍍の塚本町 入高)4年の16歳でした。自宅は

歳で結婚し、2人の子と4人の孫 歳の定年退職まで勤めました。24 った頃から回復に向かいました。 する日々が続きました。2カ月な にも恵まれました。「子どもたち 戦後は小学校の教員になり、60

理屈ではなく体で感じなければな がる。思いやり、やさしさ、連帯 育てていくことが世界平和につか などの和を膨らませ、大きな和に されました。「家族、友人、隣-典で市長が読み上げた平和宣言に た」と教員時代を振り返ります は、河内さんが寄せた文章が生か その言葉通り、証言活動では全 被爆70年の広島市の平和記念式

に「平和復興市民大会」という名

図に全員で黙とうします。広島市

ども代表が突く「平和の鐘」を合

午前8時15分に、遺族代表とこ

被爆翌年の1946年8月5日

思いやりの心を大切にするなど日 く、証言を重ねるつもりです。 常生活で平和を築く大切さも伝え ています。これからも一回でも多 (増田咲子)

も脳裏に焼き付いた原爆の記憶と

年続いています

ともに、いじめやけんかをせず、

11~に英語訳 2018年6月4日掲載、

願い放たれたハト

(2018年)

両親と姉が亡くなっていた自宅跡付近で当時を

振り返る河内さん

私たち10代の感想

家族や友達 大切にする

「家族や友達を大切にすることが平和につ 「家族や友達を大切にすることが平和につながる」という言葉が印象に残りました。身近で支えてくれる人に感謝の気持ちを伝え、今まで以上に大切にしたいと思いました。また、「今の10代は勉強ができるので幸せだ」と繰り返していました。憧れて入った学校では工場に動員されて勉強ができなかったそうです。恵まれた環境をありがたく思いながら、飲食を選集しないです。 勉強を頑張りたいです。 (中3森本柚衣)

原爆許せない 思い新た

当時の自宅近くの相生橋周辺へ行くと、 ースケートで遊んだ記憶と、家族の骨を 見つけて自分も死のうと川べりへ行った時の 光景がよみがえるそうです。川には死体がい っぱいあり、今思い出しても胸が痛くなるそうです。幼い頃、遊んだ場所には楽しい思い 出があるはずなのに、悲しい記憶を同時に呼 び覚ます原爆をあらためて許せなくなりまし (高2藤井志穂)

平和記念式典 ード

た。50年は朝鮮戦争のあおりで中 6日には「平和祭」が開かれまし 前で行事があり、翌年の47年8月

止させられましたが、その後は毎

ミット」で大賞に選ばれた2人が、

「平和への誓い」を読み上げま

作文を発表する「こどもピースサ 内の小学生が平和をテーマにした

平和記念式典で、原爆犠牲者の慰霊と平和を 平和記念式典では、広島市長が वे

は115冊、計3万41 式典で、原爆死没者名簿 内外から約5万人が参列 U)の代表をはじめ、 18人分に上りました。 む85カ国と欧州連合(E 遺族に加えて、米国を含 2018年の平和記念

Survivors' Stories

I Found My Family's Skeletons in My Burnt House

Masako Kochi, 89, Higashi Ward, Hiroshima

I'm 89 years old now, but I still talk about the **atomic bombing** to many people. I **believe in** peace. Many people were killed by the bomb. I will never **waste** their lives; I want to **keep on telling** my story to young people.

At that time, I was 16 years old and in the fourth year at Hiroshima First Municipal Girls' High School (now Funairi High School). My house was in Tsukamoto-cho. My father, Gun-ichi, 48, had a fabric store. There were no classes at school and the students were sent to work at a factory. We were going to have a day off on August 6, so I went to my grandmother's house in Ushita, 2.1 kilometers from the hypocenter on August 5 because my parents asked me to. They said, "If there's an air raid, everyone in our family will be killed."

August 6 was my first day off from work in a long time, so I was happy and walked around my grandmother's garden. After the walk, I went into the house. Then I felt a strong light and the **destroyed** building fell down on me. When I **came to**, I saw a light and went toward it. It was difficult but I got out. Many pieces of broken glass were **stuck** into my body. I ran into the **bomb shelter** in the garden and saw my grandmother. She was covered with **blood**. We **decided to** go to the mountains together.

"Please stay alive!" I prayed for my family all night. Hiroshima City was burning in the fire. I tried to go home the next day, and the day after that, but I couldn't because the streets were covered with dead bodies.

On August 9, I arrived at my house at last. Everything was burnt. I found my father's skeleton at the **entrance** and another skeleton sitting in the kitchen. It was my 18-year-old sister, Nobuko. My mother, Masano, 46, was lying on the floor in front of the cooking table; the **upper half of her body** was burnt and her legs were just **bones**. There was a kitchen knife on the bones of her foot. I think that they were killed right after the **atomic bomb** was dropped over them.

After seeing them, my body was shaking and I was too weak to stand. After a while, I put my family's bones in my air-raid hood. Then I walked around with the bones in my arms. I was wondering where I could die. I thought of dying in the river, but there were so many dead bodies near the river, so I was not able to go down to the river. At that time, I remembered that my grandmother was worrying about me, and I went back to my grandmother's house.

Later, my mother's relatives took me to my mother's parents' house in Kameyama Village (now a part of Asakita Ward). I lost my hair, had black spots all over my body, and had high fever and diarrhea. I slept for many days. After two months, I began to get better.

After the war, I became an elementary school teacher and worked until I became 60 years old. I got married when I was 24, and had two children and four grandchildren. When I was a teacher, I began to talk about the atomic bombing. I didn't want to remember those sad memories, but when some children were playing at war at school, I decided to talk about my story.

The Peace Declaration of Hiroshima City 70 years after the atomic bombing used some of my words: "We can make world peace by having harmony with our family, friends and neighbors and growing this harmony with more people. Thinking about others, being kind and working with others- it is not enough to know that these are important; it is important to feel them too."

When I talk about the atomic bombing, my memory of it is clear and I always say this to young people: "We must not bully others or fight with them and it is important to build peace by thinking about others every day." I hope to keep on telling my story to many people as long as I can.

atomic bombing 原爆投下believe in ~の良さを強く信じているwaste 無駄にするkeep on telling ~を話し続けるHiroshima First Municipal Girls' High School 広島市立第一高女fabric 布地factory 工場day off 休みの日hypocenter 爆心地air raid 空襲

destroyed 破壊された
came to 意識が戻った
stuck 刺さっていた (stick「刺す」の過去分詞)
bomb shelter 防空壕 (ごう)
blood 血
decided to ~することを決めた

stay alive 生きながらえる prayed 祈った was burning 燃えていた dead bodies 死体

entrance 玄関・入り口
was lying 横たわっていた(lying は lie の現在
分詞)
upper half of her body 上半身
bones 骨
atomic bomb 原子爆弾

was shaking 震えていた
was too weak to stand 体の力が抜けて立って
いられなかった
after a while しばらくして
air-raid hood 防空頭巾
die 死ぬ
dying 死ぬこと (die の動名詞)

relatives 親戚 spots 斑点 high fever and diarrhea 高熱と下痢 get better よくなる

elementary school 小学校 got married 結婚した grandchildren 孫 sad memories 悲しい記憶 playing at war 戦争ごっこをしている

The Peace Declaration 平和宣言 harmony 調和 neighbors 隣人 growing ~を育てること

bully ~をいじめる fight けんかをする build peace 平和を築く as long as I can できるだけ長い間

天満小の プラタナス

爆心地から約1.2%の天満小 (西区) は、原爆で校舎が全壊 し、児童と教職員の計293人が 亡くなりました。校内にあった プラタナスも幹に大きな傷を負 いました。戦後校庭へ植え替え られた4本は、大きな空洞を残 すなど傷痕を隠せません。今は 同校のシンボルとして親しま れ、児童を見守り続けています。

本川沿いの シダレヤナギ

今も残る中で爆心地に最も近 い被爆樹木が、市青少年センタ ー (中区) 西側のシダレヤナギ です。その距離は約370位。原 爆の投下目標となった相生橋の 北側、本川沿いにたたずんでい ます。被爆して幹が倒れました が、戦後根元から芽が吹き出し 再び成長しました。台風に遭っ ても耐え、根が腐っても治療を 受けて生き永らえています。

3 基町のクスノキ

周囲の市営基町アパート(中 区) に負けないほど空へ向かっ て伸びているのは、クスノキで す。被爆樹木の中で最も背が高 く、約30 行あります。幹回りも 約5 気あり、樹齢は約200年と みられます。この木は約1.1% 南へ離れた爆心地の方向へやや 傾いています。爆心地側の表面 が焼け、反対側に比べ成長が遅 くなったためと考えられていま

広島城の

広島城(中区)の天守閣は原 爆で倒壊しましたが、城内にあ った木は5本が残っています。 爆心地から約740粒の二の丸跡 にあるユーカリは火災に強く、 戦後も枝を茂らせました。台風 で幹が折れても復活し、その強 い生命力は中沢啓治さんの漫 画「ユーカリの木の下で」で描

平和大通り

エノキやムクノキなど12本が 残るエリアが街中にあります。 の平和大通りの緑地帯です。一 帯はかつて国泰寺の境内でした が、原爆で壊滅。それでも木々 は根元から芽を吹き出すなどし て復活しました。クロガネモチ やセンダンのほか、秋に実を付 けるカキも育ち緑が茂ります。

南区

「広島が全滅」。原爆投下の 第1報は、広島城(中区) にあ った中国軍管区司令部の防空作 戦室から女学生が出しました。 2017年に86歳で亡くなった岡ヨ シエさんはその一人。比治山高 女3年で、ここに学徒動員され ていました。爆心地から約790 た。司令部はほとんど壊滅しま

被爆樹木・被爆建物は語る

広島駅

o比治山下

鶴見橋の シダレヤナ

被爆樹木・被爆建物マップ

3 広島城

4

バスセンター

広島

山陽線

相生通り

本通り商店街

西区

原爆ドーム前

爆心地●

平和大通り

袋町

日赤病院前 🧿

市青少年センター

十日市町

国道2号

中区

広島市

● ● 被爆樹木

△~ □ 被爆建物

原爆の惨禍を経験したのは、人間だけではありません。被爆時から立っていた木 や建物が、今も広島市内に残っています。「被爆樹木」「被爆建物」といいます。被爆樹 木は爆心地から半径約2 も以内に立つ160本、被爆建物は半径5 も以内の85カ所を 広島市が登録しています。街角でひっそりと「あの日」を語り続けています。

0



鶴見橋のシダレヤナギ

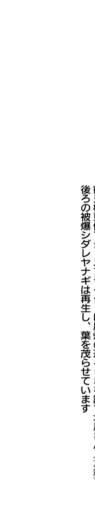
爆心地から約1.7 電離れた鶴見橋 の東詰め(南区)に立つシダレヤナ ギに、「よく生き残ったな」と声を 掛ける被爆者がいます。今も証言活 動に励む広島大名誉教授の北川建次 さん(84)=佐伯区=です。猛火から 逃れる途中、この木の下で体を休め た記憶をジュニアライターに話して くれました。

(12)

10歳だった竹屋国民学校(現竹屋 小) 5年の時、爆心地から約1.2% の教室の中で被爆しました。倒れた 校舎からはい出して下流川町(現中 区) の自宅へ帰ろうとしましたが、 火の手に阻まれ、東へ。鶴見橋に着 くと、橋は折れ、落ちていました。

逃げないと一。必死に泳いで京橋 川を渡り、対岸のシダレヤナギのた もとに倒れ込みました。爆風で太い 幹は折れ枝も散乱…。気付けば川面 を人が流されています。助けを求め る声に何もできず「阿鼻叫喚だっ た」と振り返ります。その場にいら れず、腰を上げ、さらに東の比治山 へ向かいました。

そのシダレヤナギは一度枯れまし たが、株から新しい芽が伸び再生し ました。「街が復興しても心の傷は 変わらない。被爆樹木が存在するだ けでも核兵器の恐ろしさは伝えるこ とができる」と北川さんは話します。



旧広島陸軍被服支廠 (南区) は市内最大級の被爆建物です。 爆心地から約2.7 電離れた一角 に、2階建ての倉庫が並んでい ます。1913年に完成し、被爆直 後は臨時の救護所として女学生 ら多くの被爆者を収容しまし た。西側の窓枠にはまった鉄扉 は原爆の爆風で曲がった跡が今 でもはっきりと分かります。

広島大旧理学部1号館(中区) は前身の広島文理科大の本館と して1931年に建てられ、当時は モダンなデザインでした。爆心 地から約1.4%にあり、原爆で 全焼。教員や学生が被爆しまし た。長年キャンパスのシンボル として親しまれましたが91年に 閉鎖され、市が活用策を考えて

爆心地から約380粒の旧日本 銀行広島支店(中区)は、原爆 の爆風で窓枠や欄干が吹き飛び ましたが、2日後に支払い業務 を再開。1階の窓口を被災した 市内の銀行の仮営業所として割 り当て、市民の生活を支えまし た。1992年に支店は別の場所に 移りましたが、建物は保存され 市の重要文化財になりました。

















◯ どうして原爆が投下されたの?



米の狙い巡って論争続く

核兵器は、人類の歴史で最悪の大量破壊兵器だといわれます。1945年7月16日、米国はニューメキシコ州アラモゴード近郊のトリニティ・サイトで核実験を行いました。その3週間後に広島にウラン型原爆を、さらに3日後には長崎にプルトニウム型原爆を落としました。材料の異なる原爆が使われました。

もともと米国は、ヒトラーの ナチスが政権を握ったドイツに 先を越されまいと原爆開発を始 めましたが、後に日本との戦争 で使う方針に変更しました。

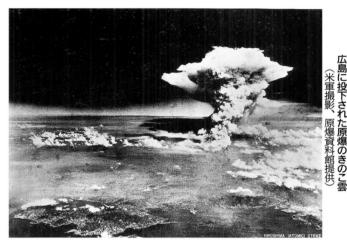
第2次世界大戦も終盤の45年になると、米軍は日本の主な都市を爆撃機で攻撃しますが、原爆投下の準備も着々と進めました。広島と小倉(現在の北九州市)、新潟、長崎を投下目標に選び、その中から広島を第1目標に決めました。原爆の破壊力

を調べるため広島への空爆を控 えました。

45年8月6日午前8時15分、 北太平洋のテニアン島を出撃したB29爆撃機「エノラ・ゲイ」 が、丁字形の相生橋を目標に原 爆「リトルボーイ」を投下。島 病院(現在の島内科医院、広島 市中区)の約600 版上空でさく 裂しました。

広島は明治時代から軍都で、 現在の広島港から海外に陸軍の 軍隊を送る拠点として、軍に関 係する施設の拡充が続きまし た。ただ市街地は民家や商店が 中心であり、市民が無差別に犠 牲になりました。

米国では「降伏しない日本と の戦争を終わらせるため原爆を 必要とした」とよく言われます。 一方で、戦争後はライバルにな ると思われた当時のソ連に強大 な原爆を見せつける狙いがあっ



たといいます。多額のお金で原 爆を開発したため、投下せずに 終われば米国民の理解を得られ ない、との考えもあったと指摘 されています。

長崎については、最初は小倉

が第1目標でした。しかし小倉 上空の視界が悪かったため、B 29爆撃機「ボックスカー」は8 月9日午前11時2分、長崎の浦 上地区に原爆「ファットマン」 を落としたのでした。

■ 原爆でどんな被害が出たの?

A

死者は年末までに14万人

原爆の特徴は、高温の熱線、 猛烈な爆風、そして放射線です。 広島の爆心地の地表温度は3千~4千度になり、熱線と爆風で 爆心地から半径2キー以内の建物 がおおよそ焼け落ちました。23 ⇒にある地図を見ると、全焼した区域がよく分かります。

人口が約35万人だったとみられる広島市では、1945年末までに14万人が犠牲になったと推定されています。この数字は「プ

ラスマイナス1万人の誤差がある」と言われます。当時の混乱 と、その後の調査も十分とはい えなかった実態を物語ります。

人口が約24万人だった長崎市 は、被爆5年後の調査で「45年 末までに7万3884人が原爆で死亡」と推定され、その数字から「死者約7万人」とされています。広島で被爆した後長崎に移動し、再び原爆に遭った人もおり、「二重被爆者」と呼ばれます。

○ 広島はどう復興したの?

一面が焼け野原となった広島と長崎では、何とか生き延びた市民が、街の機能を取り戻すため自らの負傷を押して働きました。広島電鉄は大打撃を受けましたが、早くも3日後に一部の線路に一番電車が走りました。

海外からの支援も受けました。赤十字国際委員会の駐日代表を務めたスイス人医師のマルセル・ジュノー氏は「広島の恩人」と呼ばれています。原爆投



米国人カズンズさん=中央を訪問した精神養子運動の提

市民の努力と海外からの支援

下から約1カ月後、広島に入り、第2次世界大戦後に日本を占領した連合国軍総司令部(GHQ)を説き伏せて15%もの医薬品を届けました。まだ日本になかった抗生物質などの薬が、負傷者を助けました。

戦後すぐの時期は深刻な食糧難に陥り、人々は闇市で物を買い求めました。そんな広島に1940年代後半から50年代にかけて、米国の慈善団体などが大量

の救援物資を届けてくれました。ハワイやカリフォルニア州 に住む広島県出身の移民も、寄付金を集めてくれました。

広島では2千人以上ともいわれる子どもが親を失い、原爆孤児になりました。米国人ジャーナリストのノーマン・カズンズ氏たちが力を注いだのが「精神養子運動」です。米国市民が毎月送金し、孤児の生活や学業を支援しました。

○ 「黒い雨」って何?

原爆投下直後、放射性物質や 大火災によるすすを含んだ黒い 雨が降りました。爆発と大火災 による上昇気流により、雨雲が できたためです。

降り始めた時期は地域によって異なりますが、早くは爆発の20~30分後ごろから広島市の北西部で降りました。被爆後の調査では、爆心地から北西方向の長さ約29⁺。、幅約15⁺の卵形の

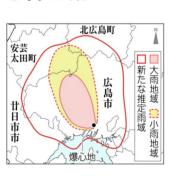
エリアだとされました。

国はこの調査を基に1976年、特に「大雨」だったという長さ約19⁺。、幅11⁺の地域を「第1種健康診断特例区域」に指定しました。そこで雨を浴びた人は無料で健康診断が受けられるほか、指定された病気になれば、被爆者健康手帳を取得できます。しかし、その周囲の「小雨」とされた地域やさらに広い地域

△ 放射性物質やすすを含む雨

は対象外です。

広島市や広島県による2008年度からの調査で、推定雨域は「大雨」地域より約6倍広く、体験者が健康不安を抱えていることが分かりました。市や県は、全ての降雨地域を特例区域に指定するよう要望しましたが、国に認められていません。裁判を起こして区域拡大を求めている住民もいます。



○ 被爆者とは?

広島と長崎で原爆に遭った 人を「被爆者」といいます。 被爆者援護法に基づき、「被 爆者健康手帳」を交付された 人たちは、厚生労働省による と2018年3月末現在で計15万 4859人です。被爆時に当時の 広島、長崎両市内や周囲の一 定区域にいて直接被爆した▽

原爆が落とされて2週間以内

に爆心地から2⁺1圏で入市被爆した▽市内には入らなかったが、2週間以内に負傷者を救護所で看病するなどした▽胎児の時お母さんのおなかの中で被爆した一のいずれかに当てはまる人です。

一方で、差別や偏見を恐れ て手帳交付を申請してこなか った人もいます。

A 入市、救護、胎児で被爆も

海外に住む被爆者もいます。18年3月末現在、32カ国・地域に3123人。在外被爆者と呼ばれます。

朝鮮半島の出身者やその子で、終戦により日本の植民地支配が終わると韓国に戻った人が多くいます。強制的に広島に連れてこられて働かされていた人も含まれます。北朝

鮮に渡った被爆者については、現在の人数や健康状態などの正確な情報がありません。

米国には、広島からの移民 の2世で日本に戻っていて被 爆した人や、戦後に結婚など で渡米した人が暮らしていま す。ブラジルには戦後移民の 被爆者が少なくありません。

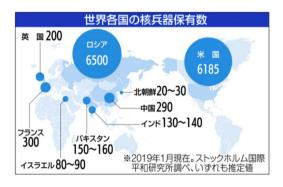
○ 核兵器はどれだけあるの?

世界には米国、ロシア、英国、フランス、中国、イスラエル、インド、パキスタン、そして北朝鮮の9カ国の核兵器が約1万3865発あるとみられています。その9割以上が米国とロシアのもので、地球を何度も滅亡させることができる数だといわれます。

1945年に米国が広島・長崎 に原爆を投下した後、旧ソ連 (現在のロシア)と米国の間 の「冷戦」と呼ばれる対立の 中で、核兵器の開発・製造が 競われました。80年代には約 7万発に達しました。

核兵器開発には、試しに使う「核実験」が必要とされるため、これまで約2060回も行われています。核実験場の周りに住む住民が健康被害を訴えているほか、地球環境にも大きな影響を与えています。

9ヵ国が1万4000発近く保有



○ 核兵器禁止条約って?

核兵器を持つ国同士が対立すると、核兵器が使われる危険は高くなります。想定外のミスや盗難でも、核兵器が発射されたら大変な事態になります。しかし核兵器を持つ9カ国は、保有数をゼロにしようとしません。「わが国は強大な兵器を持っているぞ」と誇っている状態です。

そのことにいらだちを募らせた122カ国・地域の賛成で、2017年7月7日、米国ニューヨークの国連本部で「核兵器禁止条約」が成立しました。核兵器廃絶を前に進めるための条約です。

核兵器の何を、どう禁止しようとしている のでしょうか。新たに核兵器を持つことはも ちろん、他国への譲り渡しや核兵器開発の援 助も禁止です。「核兵器を使うかもしれない

△ 威嚇も違法化。参加国数が課題



2017年のノーベル平和賞の 授賞式。中央が被爆者のサ

ぞ」と脅す「威嚇」も違法です。

核兵器禁止条約の実現を熱心に訴えた非政府組織(NGO)の「核兵器廃絶国際キャンペーン」(ICAN)は、その年にノーベル平和賞を受賞。広島で被爆し、現在はカナダに住むサーロー節子さん(87)が代表して賞状を受け取りました。

課題もあります。この条約は加盟国が50カ 国に達したら発効することになっています が、条約賛成でも加盟手続きをまだ終えてい ない国が多くあります。

肝心の9カ国は、条約に参加しそうにありません。実は日本政府も、「核兵器でわが国を守って」と米国に求める政策を堅持しているため、条約に背を向けています。被爆者から強く批判されています。

🔾 広島に来る外国人なぜ増えた?

🔼 政治家や著名人の訪問で注目

広島の原爆資料館によると2018年度の入館 者数は152万2453人です。18年7月の西日本 豪雨の影響があり前年度より1割近く減りま した。しかし外国人は43万4838人で、6年連 続で過去最多を更新しました。原爆被害を学 ぶ場への関心が高まっています。

今年4月25日には、改修工事をしていた本館が2年ぶりに再オープンしました。さらに多くの観光客が海外から訪れそうです。

各国の政治家や著名人の広島訪問も絶えません。16年5月27日には米国のオバマ大統領が、原爆投下国の現職の大統領として初めて被爆地を訪れました。



古くは、1981年にローマ法王ヨハネ・パウロ2世が平和記念公園で「平和アピール」を読み上げ「戦争は人間のしわざです。 戦争は人間の生命を破壊します」と語りました。今年11月、ローマ法王フランシスコが広島と長崎を訪れることが有力視されています。

条斤 层 (16) 2019年(令和元年)6月 [五五]

平和記念公園を歩く

原爆資料館の本館は、4月にリニューアル

平和記念公園(広島市中区)の周辺には、原爆資料館 と原爆ドームのほかにも、被爆時にその場所がどうなっ たかを伝える説明板や、犠牲者の慰霊碑がたくさんあり 建物疎開作業中に犠牲になった子どもたちを追悼 する碑は、実際に生徒たちが作業をしていた場所の近く

原爆資料館で、犠牲になった子どもたちの遺品などを 見学してみましょう。そして、平和記念公園とその周り をゆっくり歩き、慰霊碑なども巡ってみましょう。

⋒原爆資料館

本館一新 実物にこだわり



「8月6日の惨状」コーナー。建物疎開作業に出ていた 子どもたちがたくさん亡くなりました

った子どもたちは皆さんと同世代です。 熱線や爆風で折れ曲がった鉄骨や、溶けた

島の家」を建てた人です。

に、原爆で家を失った人びとのための住宅「広 -949年8月に広島市を訪れ、仲間と一緒

(1895~2001年)を知っていますか。

えるコーナーも新たにできました。 同じことが起こったら…。 立ち止まって、 情勢などを学びます。朝鮮半島出身者や東南 りませんでした。自分のきょうだいや友達に 楽しみに出かけましたが、口にすることはあ が開発された歴史、被爆後の復興、 めが残ったまま。あの朝、 アジアからの留学生など、外国人被爆者を伝 んの弁当箱には、黒焦げになったご飯や油炒 本館をじっくり見学した後は東館で、 してみてください。 滋さんはお弁当を 世界の核

ます。火の海を逃げ惑い苦しみながら亡くな に当たっていた中高生の遺品が展示されてい コーナーでは、あの日、市内で建物疎開作業 た学生帽―。本館入り口の「8月6日の惨状

毘者の心に訴えています。

ボロボロに引き裂かれた制服や、

せました。大切な命を奪う原爆の残酷さを来 もたちの遺品などの「実物」の展示を充実さ 回目だった今回の改装では、亡くなった子ど オープンしました。 1955年の開館以来3

所の写真や、被爆者が壮絶な光景を描いた「市

|が描いた原爆の絵」が並びます。

「魂の叫び」コーナーは犠牲者一人一人と向

無言で語っています。負傷者であふれる救護

ガラスケースに収められた遺品のそばには、 き合う空間です。「あつい」「お水ちょうだい

犠牲者や遺族の言葉が添えられています。

広島二中(現観音高)1年だった折免滋さ

金属の塊も置かれ、原爆がもたらす悲惨さを



一人一人の遺品と向き合い、失われた命の 尊さを考える「魂の叫び」コーナー



「市民が描いた原爆の絵」や負傷者の写真が 被爆直後の惨状を伝えています

「広島の家」 被爆者支える

原爆資料館付属展示施設 シュモ



「シュモーハウス」一般公開されている



フロイド・ シュモーさん

の「広島の家」のうち、現在は、中区江波| 公開されており、当時使われたハンマーや設付属展示施設「シュモーハウス」として一般 ことに気づかされます。 復興が海外の多くの人たちに支えられていた 副図、活動に参加した人の寄せ書きが展示さ 4松に1軒だけ残っています。 原爆資料館の シュモーさんの足跡を学ぶことで、広島の シュモーさんたちが建てた計15棟(21戸)



⑤原爆供養塔

内部の納骨堂には、被爆直後の 混乱のさなかに火葬された身元不 明の遺骨や、引き取り手のいない 遺骨など、計7万人分の遺骨が納 められています。1955年8月に 建立されました。



⑥広島二中原爆慰霊碑

建物疎開作業の前に、碑の周辺 の川岸で整列していた広島二中 (現観音高)の1年生の大半が即死 しました。碑の裏面には亡くなっ た生徒、職員352人の名前が刻ま れています。

の遺構の一部を保存し、20年度に

般公開する計画です。たくさん

発掘調査をする予定で、中島地区

)描かれています。 市は本年度も

「メ映画「この世界の片隅に」

被爆前の中島地区の様子は、

して原爆の惨禍を感じる場所にな

明らかになったのです。

ました。すると、銭湯の浴室の白 から本館下の一帯で発掘調査をし

(け焦げたしゃもじなどが出てき 、タイルや、民家の中庭の池の跡、

た。当時の町並みや暮らしが



4 慈仙寺跡の墓石

爆心地から約200粒 にあった慈仙寺跡の墓石 です。爆風で境内の建物 は壊滅し、住職ほか全員 が亡くなりました。盛り 土をして整備された公園 内で唯一当時の地面が 残っています。





正式名称は「広島平和都市記念 碑」。1952年に完成し、劣化を防ぐため85年にコンクリート製から御影石製に造り替えられました。アー チ形の碑の下には「安らかに眠って 下さい 過ちは繰返しませぬから」 と碑文を刻んだ石室があり、中に原 爆死没者名簿が納められています。



7)広島市立高女原爆慰霊碑

広島市立高女(現舟入高)は建 物疎開作業中の1、2年生たち 676人が亡くなりました。碑が 建てられた1948年は米軍の占 領下にあって原爆被害について自由に語ることが規制されてい たため、アインシュタインが相

対性理論から導き、原爆製造にも応用された公式「E=MC²」が使わ れました。



❷原爆ドーム

身のヤン・レツルが設計しま 洋風のデザインは、チェコ出 形のドームがひときわ目立つ 辺に木造家屋が並ぶ中、 辺に木造家屋が並ぶ中、楕円称は「広島県産業奨励館」。周 に地元産品などを展示する 建設されました。被爆時の名 「広島県物産陳列館」として 原爆ドームは、1915年 した。

を受け、 するため、 直に受けたため建物の中央部 いた人は全員、即死しました。 原爆ドームが保存されるよ 方で爆風を真上からほぼ垂 爆心地から160以に位置 建物は倒壊。館内に 原爆の爆風と熱線

> 少女の存在があります。 1歳 で被爆し、15年後に白血病で 亡くなった楮山ヒロ子さんで うになった背景には、

少女の祈り 保存

動 か す

鶴の会」の子どもたちが保存 ヒロ子さんが日記に残した言 葉に心を動かされた「広島折 たえかけてくれるだろう」ー。 べき原爆のことを後世にうっ だけが、いつまでも、 あの痛々しい産業奨励館 おそる が保存方法を慎重に検討しな 化遺産にも登録。市は定期的 に建物の劣化を調べ、

専門家

外からの寄付で初めて保存工 保存を決議。翌年、 がり、66年に、広島市議会が を求める署名を集めて輪が広 市は国内

を行いました。

化機関(ユネスコ)の世界文 96年には、国連教育科学文

繁華街眠る 公園地下

中島地区と呼ばれるにぎやかな繁 華街がありました。かつては、 **にのです。原爆により、大半が爆 쁘館やカフェ、病院や寺院などが** 一地区は壊滅しました。 原爆資料館本館の耐震化工事に 和記念公園がある場所には、 約4400人が暮らしてい 広島市は、2015年秋

民家の跡地 炭化した木製しゃもじが発掘された (2016年3月

浜井信三さん。タイトルか

「原爆市長」と言われた

す。

ら1945年8月6日に広

55年に中国新聞夕刊で「市

もともと「原爆市長」は

政秘話」として74回連載さ

島市長だったかと思うかも

本を読んで考える と平和 原爆



原爆市長 復刻版 浜井信三

よみがえった都市─復興への軌跡

復 |興目指す行政の奮闘

りません。被爆時には市の に市長となります。 41歳の ときでした。 課長でした。その後、47年 しれませんが、そうではあ 一発の核兵器は多くの命 年、出版されました。現在 東日本大震災後、被爆後の の本は、2011年3月の れた記事をベースとして67 **広島のまちづくりや復興の**

れています らないことが無限にある。 ました。「やらなければな ていくか。その過程が描か 働くもの」がどうやって市 状態の中、「公共のために を奪い、町並みを消滅させ 民生活を維持し、復興させ 緑多い町並みに驚きます。 です。 ら、有志が復刻させたもの れる人が増えています。初 のではないかとの思いか めての人は一様に、復興し プロセスが東北でも役立つ 国内外から今、広島を訪

の人々との会話などを通し はもとより軍関係や経済界 材…。それらをどうやって て生き生きと描かれていま 入手していったかが、行政 品、家を再建するための木 食料や衣服などの生活用 しょう。 た。そのことが再認識でき ける志と苦労がありまし の多くの人たちの復興にか の人にも参考になることで について研修に訪れる海外 ます。英語版もあり、復興 ここに至るまでに、政財官

広島の木に会いにいく



希望与えた被爆樹木

立ち合います。被爆して傷ついても、新しい芽

痕が今も残っているのが分かります。

石田さんは、爆心地から約1・8%の

をした枝が伸びていたりして、原爆の爪 根の張り方が少なかったり、変わった形

を出し続けてきた被爆樹木の生命力は、多くの

被爆者に希望を与えました。

をきっかけに、著者が市内の被爆樹木を巡り、 木にまつわる人々の思いをつづっています。 体験を証言し続けた故沼田鈴子さんとの出会い

動物、植物が受けた痛み、平和の尊さを訴えて

て」と語り掛けます。被爆樹木は、原爆で人や

い。目をとじて、木が根をはっている土を感じ

石田さんは「木にそっと近づいてふれてほし

本です。この本は、被爆アオギリの下で、被爆 市に登録されている被爆樹木は現在、約160 原爆の惨禍を乗り越えた「被爆樹木」。広鳥

記者らが選ぶこの一冊

花の命は短かくて

花の命は短かくて 原爆乙女の手記

苦しみ描く 女性15人の

さまようさまは、まるで「地獄絵図」だったそ ら人生は一転します。赤黒い焼け野原を人々が で「何だろう?」と晴れた空を見上げた瞬間か 人は「原爆乙女」と呼ばれた、被爆した女性た 自宅や勤労奉仕の現場など、それぞれの場所 この手記をつづったのは15人の女性。うち14

うです。目をそむけたくなるような描写が続き

の顔を見て少女が涙する一文には、胸が さ…。ガラスに映った変わり果てた自分 痛みます。 活、思うように体を動かせないやるせな 耐え、奇跡的に回復した彼女たちが味わ を失った悲しみ、親戚との肩身の狭い牛 ったのは「生きる苦しみ」でした。家族 そしてその後、被爆後の苦しい治療に

イター、安田女子大1年沖野加奈=写真 み進めることは苦しいですが、その分、身近な 史の一部」としてではなく、「15人の女性の人 にぜひ読んでほしい一冊です。(元ジュニアラ す。彼女たちが被爆した時と同年代の中高校生 問題として平和について考えられると思いま だからこそ顔のやけどは、多感な時期の彼女な 今の自分を好きだと言えることが不可欠です。 か。幸せを感じるためには、自分に自信が持て、 生」と捉えることができます。自分に重ねて読 ちの心をむしばみ、笑顔を奪ったのでしょう。 この本を読むと、原爆被害を「学校で習う歴 私たちが笑顔になれるのはどんな時でしょう

ほかに読みたい本

チョウ…。よく見てみると、爆心地側の 原爆から逃れた人が集まった縮景園の人 ます。爆心地に最も近いシダレヤナギや で、平和大通り一帯や広島城周辺を歩き

被爆樹木を長年見守る樹木医の案内

広島第二県女二年西組―原爆で死んだ 級友たち 【ノンフィクション】

折り鶴の子どもたち 爆心地ヒロシマに入る ヒロシマ日記 ヒロシマ 生父母の手記集 星は見ている 全滅した広島一中一年 (ジョン・ハーシー) (秋田正之編 (蜂谷道彦) (那須正幹) (林重男

写真が語る原爆投下 ヒロシマ・ナガ カウンターの向こうの8月6日 原爆で死んだ米兵秘史 (富恵洋次郎) (森重昭)

サキをもたらした側の全記録 もう一つの語り部 被爆電車物語 地図から消された島―大久野島 毒ガ (工藤洋三・奥住喜重) (武田英子 (加藤一孝)

(中国新聞社編

ひろしま国

10代がつくる平和新聞

(杉原梨江子)

彼岸花はきつねのかんざし(朽木祥 ふたりのイーダ 長崎の鐘/この子を残して(永井隆 父と暮せば/紙屋町さくらホテル 娘に語る祖国 太陽の子 (つかこうへい) (井上ひさし) 灰谷健次郎 (松谷みよ子) (大田洋子) (井伏鱒)

(絵本)

ひろしまのピカ ちいちゃんのかげおくり (丸木俊

きみに聞いてほしい もえたじゃがいも つるにのって 広島に来た大統 (あまんきみこ) (入野忠芳) (美帆シボ)

生きるんだ/母ちゃんの祈り 夕凪の街 桜の国 (こうの史代) (ごとう和)

凍りの掌/あとかたの街 君がくれた太陽 (松尾しより) (おざわゆき)

被爆マリアの祈り 総員玉砕せよ!/コミック昭和史 (水木しげる (西岡由香

の時にノーベル平和賞を受賞

しました。自分とは別世界の

立ち上がりました。 いと気づいたのです。そして ていたことが、当たり前でな に通います。当たり前とされ

どんな社会にも、それが当

残った。上映時間との闘いだったのだろう。 られていない部分には、どうしてという思いは して読んだ。何度読んでも見ても応えてくれる。 呉での状況、思いなど、よくもここまでと感服

ただコミックでは描かれ、映画では取り上げ

人だと感じますか?

この本を通してマララさん

フザイさんの言葉です。皆さ

この本の著者マララ・ユス

それはおかしいと考え、学校

見つけ、心に響くものがあった。

に強い関心があった。被爆前の7時3分、空襲の

原爆被災について、特に下巻「20年8月」 以降

管戒警報が解除され出勤する男たちとの会話、

あったが、見るたび、読むたびに新しいものを

に読んでいた。 映画も見た。 満席札止めも数度

「この世界の片隅に」のコミックは映画の前

心に響くすずの優しさ

んとそんなに変わらない17歳

被爆者おすすめ



平和学習活性化の研究者

中

久保田智子さん(42)=東京都

マララさんがなぜ教育のた

を変えることができると訴え はみなさんも同じように世界

す。かつて日本が戦争に突き

進んだのも、それが無謀だと

考が停止する危険がありま たり前だと受け止めると、思

今どんなことを考えているか

ったのか、その経験を通して の状態になり生活がどう変わ で下校途中に頭を撃たれ瀕死 めに立ち上がったのか、15歳

がつづられたこの本。私たち

を変えられる、大切なのは「気

人一人が変わることで世界

本です。

なさんに勇気を与えてくれる あなたもマララなのだと、み ます。「わたしはマララ」は、 にできる大切なことだと思い 私たち一人一人が平和のため たり前に疑問を持ち、気づく。 気づけなかったからです。当

つく」ことなのだと教えてく

◎その日東京駅五時二十五分

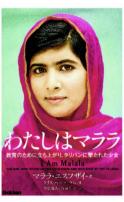
「気づく」とは何でしょう ◎戦争童話集

◎夜と霧

(フランクル (野坂昭如) (西川美和) 元TBSアナウンサー。「どうぶつ奇想天外!」「筑紫哲也のニュース23」「報道特集」などを担当し、ニューヨーク特派員や政治部記者も経験した。2019年米コロンビア大で修士号を取得。 現在は東京大学学際情報学府博士課程で、被爆者のオーラルヒストリーやインタビューを通した平和学習の活性化を研究している。東広島市出身。

があるということに、どうか 気づいてください」 いで。自分には無限の可能性 「そんな力はないと思わな 無限 の可能性 気づいて ける必要はないと考えられて タンでは、女の子は教育を受 いました。でもマララさんは マララさんが育ったパキス

わたしはマララ マララ・ユスフザイ



ヒロシマを語り継ぐ 教師の会事務局長

元小学校教師。荒神町国民学校1年のときに大須賀分散授業所 で被爆した。倒壊した建物から懸命に抜け出し、 被爆者の流れに 交じって二葉山中腹に逃げた。同じ授業所にいた姉や友人は即死 教え子に、 「8時15分 ヒロシマで生きぬいて許す心」 の著書がある心理学者の美甘章子さんたちがいる。

梶矢文昭さん(80)=広島市安佐南区

ね」の言葉に涙がにじんだ。被爆の時の人々の んた…」「よう広島で生きとってくれんさった で孤児になった女の子にすずさんが掛ける「あ

終章の「しあはせの手紙」の部分、原爆被災

本である。

る。もちろんそれでも良いが、読書会などで意

一人で1回で読み切るには惜しい図書であ

見を交わし、みんなで読みあっていくに値する

苦しめ続けた言葉でもない。

ではない。ましてや「うちの娘は死んだのに、 ことを思い出した。「よう広島で生きとったね」

あんたは生き残っとって」など、被爆生存者を

◎夏の花 ◎原爆の子

◎8時15分 ヒロシマで生きぬいて許す心

(長田新編 (美甘章子)



この世界の片隅に こうの史代

条斤

 \Box

被爆体験の継承をテーマにした漫画を、広島市の「被爆体験伝承者」を目指す大河原こころさん(29)に描いてもらいました。東区の被爆者、山本定男さん(88)の協力を得てストーリーを考えました。主人公の少女が原爆資料館を見学した後にした体験とは…。

漫画「8・6からのメッセージ」



10代の私にできるこ

「核兵器廃絶」「被爆体験を受け継ぐ」と聞くと、 大変なことに思えるかもしれませんが、若者にし かできないことはいくつもあります。皆さんと同 じヒロシマの10代が、被爆者から証言を聞いたり、 核兵器廃絶を求める署名を集めたりしています。 さまざまな活動の中からいくつか例を紹介しま 自分に何ができるのか、考えてみませんか。

取材後にサーロー節子さん(前列左から2人目 こ記念撮影するジュニアライター

証言伝えるジュニアライタ

平和のメッセージを、子どもの視 取材では、お年寄りから託された を収録する「記憶を受け継ぐ」の 事を書いています。被爆者の証言 ボジア支援など、幅広い視点で記 さん(87)たちにインタビュー。核 た被爆楽器や、被爆地からのカン 待の言葉を紙面で紹介しました。 兵器廃絶への思いや、若者への期 説したカナダ在住のサーロー節子 長や、2017年のノーベル平和 点から伝えます。 員授賞式で被爆者として初めて 演 これまで、潘基文・前国連事務総 -がゆく」では、原爆を乗り越え 月1回の連載「ジュニアライタ

高校生平和大使 世界で活躍 います。 実さん、広島大付属高2年松 のは、県立広島高2年北畑希 本年度、広島から選ばれた

毎年スイス・ジュネーブの国 して核兵器廃絶署名を集め、 は、長崎で始まった活動です。 が務める「高校生平和大使」 **建欧州本部に赴いて提出して** 「高校生1万人署名活動」と 全国から選抜された高校生



国新聞に掲載されます。 書く活動をしています。記事は中 高校生と中学生が原爆や平和をテ

る「核廃絶!ヒロシマ・中

広島や沖縄の中高生によ

中国新聞ジュニアライターは、

-マに自分たちで取材し、記事を

本年度の高校生平和大使として活動する 左から牟田さん、松田さん、北畑さん

兵器廃絶国際キャンペーン」 た。ノーベル平和賞受賞団体 の非政府組織(NGO)「核 3年開原弓喜さん、 ノートル えたい」と抱負を述べました。 生の声を聞ける最後の世代。 悠一郎さんの3人。全国から 田小春さん、基町高2年牟田 ダム清心高3年下久保理子さ 私の言葉で平和への思いを伝 集まった20人の大使と活動し るなどしました。 んが、大使を1年間務めまし ん、沼田高3年久保田音美さ ます。北畑さんは「被爆者の (ICAN)の本部を訪問す 昨年は、福山暁の星女子亭



地道な行動

動発表をしました。 ました。署名の目録を提出 徒たちが定期的に街頭に立 生やドイツの若者たちと は、広島女学院高と修道高 道な行動です。 今年5月に 名活動を展開しています。 ち、平和首長会議(会長・ 高生による署名キャンペー するとともに、長崎の大学 山市)の8人が平和首長会 い人たちに働き掛ける、地 して核兵器廃絶を求める署 松井一実広島市長)に協力 ン」も頑張っています。生 「ユースフォーラム」で活 ークの国連本部に派遣され 具会が開かれた米ニューヨ LT)再検討会議の準備委 議から核拡散防止条約(N 器の問題について関心がな (広島市中区)、盈進高(福 署名集めは、原爆や核兵

条斤

 \Box

被爆樹木•被爆建物

- 12、13学を参考に、次の問いに答えましょう。
- 問1 広島市は、爆心地からどれくらいまで離れた建物を被爆建物と呼んでいますか。そのうち、原爆投下の第1報が発信されたのはどの建物でしたか。
- **間2** 広島市は、爆心地からどれくらいまで離れた場所にある樹木を被爆樹木と呼んでいますか。
- 問3 被爆者の北川建次さんの記事を読んで、どんなことを感じましたか。

平和記念公園

- 16、17、24分を読み、次の問いに答えましょう。
- **問1** 原爆ドームは、どのような目的で建設されましたか。また、 被爆時はどのような名前でしたか。
- 問2 原爆ドームが残ったのはなぜでしょうか。
- 問3 原爆ドームが世界文化遺産に登録されたのはいつの年ですか。 ()年
- **問4** 被爆前の平和記念公園はどんな場所でしたか。被爆前のことを知ってもらうため、広島市はどんな計画を進めていますか。
- 問5 リニューアルした原爆資料館の本館には、原爆犠牲者の遺品が多く展示されています。「実物」の展示にはどのような狙いがあると思いますか。
- 問6 原爆の子の像の建設は、だれがどんな運動を始めたことが きっかけでしたか。
- **問7** 原爆の子の像にはどんなメッセージが込められていると思いますか。

被爆証言「記憶を受け継ぐ」

- 2~11分を読み、次の問いに答えましょう。
- 問1 証言者の話の中で、特に心に残った内容を書いてみましょ

- う。その理由も書いてください。
- **間2** 被爆の記憶を受け継ぐために大切なことは何だと思います か。あなたの考えをまとめましょう。

若い世代の活動

- 20、21分を読み、次の問いに答えましょう。
- **問1** このマンガを通して大河原こころさんと山本定男さんが伝えたいことは何だと思いますか。
- 問2 ジュニアライターや高校生平和大使などの活動を参考に、 平和のため自分に何ができるのか考えてみましょう。

新聞から

- 問1 「原爆の日」の翌日、 2018年8月7日付朝刊の テレビ欄を見てみましょ う。平和に関する隠され たメッセージが書かれて います。何でしょうか(ヒ ント・文字を縦に読む)。
- **問2** テレビ欄にならって、平和にちなんだ文を作ってみましょう。

11	
つ	
つ ま で も 平 和 を 守	
で	
も	
平	
和	
を	
守	
ス	

平和にちなんだ文を募集します。優れた作品を、中国新聞ヒロシマ平和メディアセンターのウェブサイト内(http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=91248)に順次掲載する予定です。

〒730-8677広島市中区土橋町7の1

中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター

peacemedia@chugoku-np.co.jp

みなさんの学校で「学ぼうヒロシマ」をどのように 活用していますか。また、平和を学ぶ学習や行事にど う取り組んでいますか。この新聞に対するご要望も、 この連絡先にお寄せください。

平和学習 **✓** ワークシート

この平和学習新聞「学ぼうヒロシマ」に書かれていることを参考に、 次の問いに答えましょう。

原爆投	にの些	見レ:	烛宝
	この目	泉し1	汉吉

$4 \sim 6$	ゔの	「キー	-ワー	・ド」	と14、	15%を
参考に、	次の	問いに	答え	まし	ょう。	

問1 原爆が投下される前の広島は、どん な街でしたか。

問2	右の)地図か	ら戦争	に関係	す	る施	設を
	探し、	その名	称を書	き出し	ま	しょ	う。

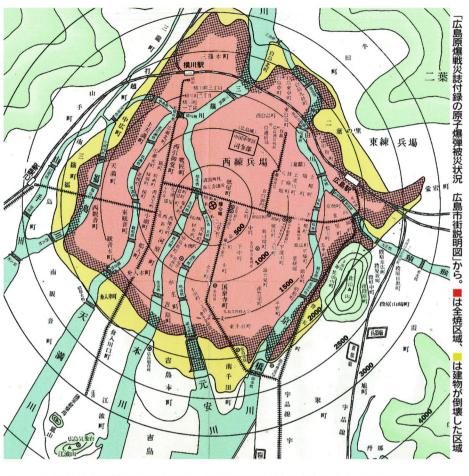
問3	広島と長崎には、	原爆がいつ落とさ
1	<i>れたのでしょう。</i>	

広島 1945年()月()日 午前()時()分 長崎 1945年()月()日 午前()時()分

間4 ほかの兵器と比べて、原爆の特徴は 何ですか。

問5 地図をもう一度、見てください。原 爆で全焼した範囲の半径はおおよそ、 どのくらいだったでしょう。

約() m



問6 原爆犠牲者や被爆者の中には、どんな国や地域の出身の人たちがいましたか。

問7 原爆は、やけどに加えて、どのような健康への影響をもたらしましたか。

被爆地の復興

14、16学を参考に、次の問いに答えましょう。

問1 広島の街はどうやって復興できたのでしょうか。



問2 左の写真はマルセル・ジュノー博士が広島に届け、後に原爆資料館に寄贈された物です。博士は原爆が落とされた後の広島に何をしてくれましたか。

問3 米国人のフロイド・シュモーさんは広島で計何棟の家を建 てましたか。うち、今も残る1棟は何に使われていますか。

世界の核兵器

15学を参考に、次の問いに答えましょう。

問1 核兵器を持つ国を挙げてみましょう。

間2 今もなぜ、世界に核兵器が存在すると思いますか。あなた の考えをまとめてください。

問3 国連で議論して実現した「核兵器禁止条約」とは、何を禁止する条約ですか。

問4 世界の人たちが広島に来ることに、どんな意味があると思いますか。

サダコと折り鶴の物語

和の象徴として、世界中に広がっています。 願いを込めて、折り鶴を作り続けました。 かけに「ORIZURU(折り鶴)」は今、平 った佐々木禎子さんは「生きたい」という 「SADAKO(サダコ)の物語」をきっ 2歳で被爆し、10年後に白血病で亡くな



小学6年の佐々木禎子さん 川野登美子さん提供)



が速く、クラス対抗のリレー選手とし

入院しました。白血病と診断されたので

十字病院(現広島赤十字・原爆病院)に 学6年の時に突然、体調を崩し、広島赤 ても活躍したそうです。ところが、小 幟町小(広島市中区)に進学します。足 被爆後も元気に成長した禎子さんは、 命に折り続けました。 代わりにし、病状が悪化する中でも、懸 薬の包みや、お菓子の包装紙を折り紙の かけに、
禎子さんも
鶴を折り始めます。 お見舞いとして折り鶴が届いたのをきっ

禎子さんとは

き取りました。一部は、原爆資料館本館 みられています。しかし願いはかなわず、 1955年10月25日、 禎子さんは息を引 や、幟町小の「のぼり平和資料室」に展 んが折った鶴は1300羽以上に上ると 原爆資料館や家族の証言から、禎子さ

ある日病院に、名古屋市内の高校から示されています。

像建立 級友が動く

ました。これが、子どもたちの運動を後 受け、原水爆禁止運動が盛り上がってい 日本の漁船「第五福竜丸」が被曝し、船 **禎子さんの死を悼んだ同級生たちの呼び** 員の久保山愛吉さんが亡くなったことを 実現しました。54年に米国の水爆実験で かけで募金運動が全国に広がり、建立が 記念公園内の「原爆の子の像」。佐々木 1958年5月5日に完成した、平和



すが、原爆の犠牲になったすべての子ど います。禎子さんがモデルだといわれま を天に掲げるブロンズ像の少女が立って もの象徴です。 高さ9以の像の頂上部分には、折り鶴

世界から届く折り鶴

原爆資料館に展示されている禎子さんの折り鶴

押ししたのです。

うち2羽は原爆資料館に展示されています。 を訪れた際、4羽の折り鶴を市に寄贈しました。 ます。米国のオバマ前大統領も16年5月に広島市 り鶴がささげられています。広島市が集計を始め た2002年度以降の累計は、2億1240万羽 ートやはがきなどに生まれ変わって販売されてい 折り鶴アートが飾られています。 修学旅行生や海外の学生などが作った千羽鶴や、 にもなるそうです。周囲に設置されたブースには、 ブース内の折り鶴は再生紙にリサイクルし、ア 原爆の子の像には、年間約1千万羽、10ヶの折



原爆の子の像にささげられた

紙面編集・重田広志、宮野史康